



二松學舎大學

渡航留学が可能

今がチャンス



海外留学の 手引き 2024





二松学舎から世界へ。

渡航可能な今がチャンス



海外留学の手引き 2024

目次

- 04** 派遣留学生の渡航日記 台湾・オーストラリア
- 08** 短期海外語学研修リアルボイス
- 11** 二松学舎大学は留学するみなさんを応援しています！
- 12** 二松学舎大学のグローバルネットワーク
- 14** 入学直後から計画をたてよう 留学までのステップ
- 16** 2024年度 短期海外語学研修プログラム
ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ/フレーザーバレー大学/サンフランシスコ州立大学/
バッキンガム大学/サザンクロス大学/北京大学/浙江工商大学/銘伝大学/高麗大学校/建国大学校
- 20** 2025年度 交換留学プログラム
バッキンガム大学/サザンクロス大学/フレーザーバレー大学/銘伝大学/成均館大学校/北京大学/
中国文化大学/周口師範学院/ボルドー・モンテーニュ大学/リール大学
- 27** 留学・語学教育タイプ分け診断
- 28** 留学・異文化交流・外国語の学びをサポートする国際交流センター
- 30** 代表的な語学力テスト・外国語課外講座・外国語試験対策課外講座
- 31** 海外留学における危機管理と注意点について
- 32** よくある質問
- 36** 交換留学プログラムにおける規程集
(奨学金・助成制度・単位認定・ゼミナールの履修について等)

☰ 感染症等にかかる海外渡航制限措置について

新型の感染症に関して、その感染拡大防止の観点から日本はもとより世界中で様々な対策がとられています。特に留学等に関しては、慎重な対応が必要になります。このため、状況によっては、交換留学や短期海外語学研修について、この『海外留学の手引き』に記載された内容が変更（日程変更や中止など）される場合があります。また、現地に渡航後の留学や短期研修中に、本学から日本への帰国命令等が出される場合も考えられます。交換留学や短期海外語学研修をお考えの学生の皆さんは、これらのことをあらかじめ承知しておいてください。

※交換留学や短期海外語学研修の実施内容の変更等に関する情報については、国際交流センターから随時発表されます。



台湾 派遣留学生の 渡航日記

日高 弘喜 さん 文学部3年生 (留学当時)

留学先：台湾 中国文化大学

時期：2022年9月～2023年7月

【写真詳細】

- ① 台湾のソウルフード「愛玉」を手づくりしました
- ② 王君と基隆から九份を眺めているとき
- ③ 前学期のグループ活動が終了したときの集合写真
- ④ 動物園での謎解きイベントに参加しました



渡航留学を目指したきっかけ

きっかけは、大学2年次にオンライン留学をして、リスニング力が伸びたのを実感したことです。中国語は大学に入ってから学びはじめ、オンライン留学を経て中国語検定3級に余裕で合格できたので、実際に現地に行ってもっと中国語の力を伸ばしたいと思い、渡航留学を決めました。

台湾を選んだ理由は、高校生のときにオンラインゲームを通じて台湾人の友だちができたことです。知り合ってから7年経っていましたが、一度も会ったことなく、渡航留学を機に、初めて対面で会いました。縁があり、彼とは現在も仲良くさせてもらっています。留学中は、台湾国内の旅行に連れて行ってもらいました。

大学を通して留学した理由

やはり経済面で大きなメリットがあると思います。中国語圏への派遣留学の場合、派遣先大学への学費は全額免除され、二松学舎の学費のみ納めます。さらに、月に3万円の給付型奨学金もいただけるため、経済的にかなり大きな助けとなりました。

情報収集の方法

基本的に派遣先大学とは直接自分でやりとりをしていました。そうすることで、現地の情報を集めています。



あとは、インターネット検索と先輩の体験談ですね。国際交流センターに問い合わせれば、先輩の話が聞ける機会をつくってくださいます。

授業について

二松学舎のゼミナールでは、日中比較言語学で翻訳を中心に学んでいるので、中国文化大学でも翻訳の授業を受講し、中国語から日本語、日本語から中国語へ訳す勉強をしました。教授が翻訳家だったので、教授が実際に訳した漫画の抜粋やニュース、新聞など、いろいろなジャンルの内容を日本語から中国語に訳したのは、印象に残っています。授業の形式は、日本の大学と同じように講義が中心で、初級クラスで20人強、上級クラスで約8人で受けました。教授にもよりますが、教授への連絡や出欠連絡はLINEを使っていました。また、授業で使う資料をLINEで配布している教授もいましたね。課題提出は、学校のウェブサイトにアップロードしました。



住まいと生活

キャンパス内にある寮で生活をします。男子は2～3人でひと部屋、女子は4～6人でひと部屋を共有し、ベッド、机、椅子などは備わっています。IHコンロと電子レンジがありましたが、基本的に食事は外食で済ませていました。大学の学生食堂や大学近くにある飲食街は安いお店が多く立ち並んでいるので、1食300円～500円で満腹になります。台湾では、朝食も外食するのが当たり前でした。

留学中に大変だったこと

寮生活ですね。2回ほど部屋替えをお願いしました。1回目は、喫煙者と同室だったためです。喫煙場所は外にあったのですが、健康上支障があったので部屋を変えてもらいました。2回目は、冬でも「暑い」という理由で、扇風機を回し続ける台湾人と同室になったときです。扇風機の風が直接当たり寒かったので「エアコンだったら直接風が当たらないからいいよ」と譲歩しましたが、相手は譲らざ論になりました。寮長にも相談をし、1か月半ほどで部屋替えを申し出ました。精神的に大変ではありましたが、今思えば中国語で口論した良い経験になりましたね。

平日と休日の過ごし方

月曜日から金曜日まで、授業があります。週に1日だけ朝から夜まで1日授業が詰まっている日があり、それ以外の日は2限から始まって、午後2コマ受けていました。授業後は、基本的に図書館で自習していました。休日は、バス1本で栄えている街まで出ることができたので、周辺を散策したり、有名な夜市に行ったりしました。フランスや韓国からの留学生とアニメ、映画館、カラオケなどが充実している「台湾の渋谷」と呼ばれる西門町に出かけました。台湾では街中で日本語を見かける機会が多く、日本語が話せる人も結構います。テレビでは日本の専門チャンネルもあり、日本のドラマや最近のアニメも観ることができます。かなり親日国家であることを実感しました。



留学を通して成長したこと

やはり語学力が大きいです。中国語で受ける中国語の授業をすべて履修していたので、「読む」「書く」「聞く」「話す」4技能の力が全般的に伸びました。台湾人の友人ができると、実用的な中国語や若者言葉、スラングをたくさん教えてもらいました。SNSを利用すれば中国語をアウトプットする頻度が増えるので良い練習になります。

また、日本にいたときより視野が広がったと思います。日本で生活していると当たり前だと思っていた日本の清潔度や時間を守る習慣が台湾ではまったく当たり前ではなくて、台湾に長く身を置くことで、日本を外から見ることができ、日本の良さに気づくことができました。逆に、台湾の良さを気に入って日本の変なところに目が行ったり。それぞれの国の自分に合う・合わない点を実際に肌で感じるようになりました。

カルチャーショックはあったか？

意見を主張することの大切さを学びました。日本には「言わなくてもわかる」「気持ちを察する」美学があると思いますが、台湾ではあまり通用しません。授業では自分の意見を求められる場面が多々あり「自分はこう思う」とハッキリ言って相手がいやな思いをすることはないので、日本にいるときから発言する習慣を身につけることをおすすめします。

中国語初心者でも留学できますか？

二松学舎が定める応募条件を満たす必要はありますが、初心者でも問題ないと思います。私の周りにも留学した時点で中国語ができない友人もいました。友人をつくってコミュニケーションをとるうちに日常会話程度はできるようになるはずですが、ただ、各国の留学生は英語が得意な学生が多く、積極的に中国語を使わないと英語でのやりとりになってしまうので、そのへんはセルフコントロールが必要です。あとは授業を受けていれば、教授への返事の仕方やよく使う言葉、買い物で使う会話などは日々を過ごしていくなかで覚えていけるとと思います。

語学力を保つための努力

現在は、中国語検定2級を目指して勉強しています。台湾の文化よりも言語そのものに興味をもっているため、ドラマや映画を見ることはあまりないですが、やはり留学中に会った友人と今でも連絡をとることが語学力を保つ一番の手段だと思います。中国語の音楽はたまに聴いていますね。

留学中に会った王さんをホームステイで受け入れていると聞きました。

そうですね。留学中に仲良くなった王さんが日本に留学することになり、2023年9月から私の実家でいっしょに生活しています。毎日行動をともにしているわけではないですが、たまに遊びに行ったりご飯を食べたりして、お互いに語学力を研鑽しながら交流を楽しんでいます。王さん以外にも中国文化大学から日本に留学する台湾人の友人もいて、みんなで集まったときは台湾留学時代を思い出しました。すてきな縁に恵まれて、感謝しています。



これからの目標や進路

日本語教師の資格とそれに関連する研究がしたいので、二松学舎を卒業したあとは日本語教師の専門学校へ1年間行き、働きながら大学院への進学を考えています。日本語教師の資格を取得してからは、中国語ができる強みを生かして台湾に限らず、中国語圏の国やそのほかの国で働くことも夢見たいと思います。

台湾国内旅行の思い出

オンラインゲームで出会った台湾人の友人が住む、台湾南の嘉義県へ旅行しました。有名な阿里山の日の出と朝4時から並んで整理券をもらった超人気店の牛肉スープや牛肉麵が印象に残っています。また、留学の最後には1週間かけて台湾1周をしました。あえて何も決めない無計画旅行で、毎日「明日の宿泊先はどうしようかな」と安い宿を探したり、温泉に入ったり、その地域特有の美味しいものを食べたりして行き当たりばったりで楽しかったです。途中、友人と合流して数日いっしょに観光して、別れたあとはひとりで旅を続けました。特にトラブルはなかったですが、野良犬が多い地域はむやみに触らないように注意が必要です。

長期で現地に留学することの魅力 体験に基づいたアドバイス

台湾人はみんなフレンドリーなので、話しかければすぐに仲良くなれると思います。私は心配性なのですが、想定より大変なことはなかったので心配しすぎなくて大丈夫。逆に、油断するとつまづくかもしれないので気は引き締めてください。(笑) 勉強面においては、現地に行ったからといって座学をおろそかにしてはいけません。日常生活を楽しみながら授業も真面目に取り組むことで語学力がついてくると思います。図書館で、地道に予習・復習を繰り返すことも日々の積み重ねで大事です。持ち物に関しては、台北の冬は意外に寒く、中国文化大学は山の上にあるので、さらに気温が下がります。防寒着は必須です。また、1年を通して雨が降るので、折り畳み傘や防水透湿レインウェアを持参すると便利です。夏は冷房が強く効いているので調節できる服装が安心ですね。

食事は先述しましたが、外食が基本です。台湾はグルメ大国でもあり、高級料理からB級グルメまでバラエティ豊かで飽きることはないでしょう。どれもおいしくて、日本人にとって食べやすい味だと思います。また、日本の外食チェーン店やコンビニも多く進出しているため、少し値段は高めですが、台湾食に不安があっても大丈夫だと思います。





オーストラリア 派遣留学生の 渡航日記



▲誕生日にホストシスターと

森貞 滯里 さん
国際政治経済学部3年生
(留学当時)

留学を決めたきっかけ

高校生のときにオーストラリアのケアンズに留学をしたことがあり、オーストラリア人のおっとりとした性格と自然が好きになり、もう一度オーストラリアに留学することを決めました。滞在したゴールドコーストは自然が豊かで、ビーチと山に囲まれている美しい都市でした。車で行ける距離にバイロンベイ、サンシャインコースト、ブリスベンなど、多くの観光地があります。その土地柄や気候もあってか、ゆったりと時間が流れていて人々はとても穏やかです。そんな環境の中で、自分をもう一度見つめ直し、成長できた1年になりました。

現地の人々との出会い

滞在先のホストファミリーには本当の家族のように接してもらい、感謝しかありません。ホストブラザーとシスターとは兄弟のように仲良く遊んだり、喧嘩をしたり、ホストファザーやマザーはビーチやハイキングに連れて行ってくれたり私が快適に過ごせるように配慮してくれました。留学生活を通して、さまざまなバックグラウンドをもった人たちと出会うことができ、日本の中でいかに狭い価値観で生きてきたのかを痛感しました。

恐れずに何事にも挑戦してほしい

留学生活が半年を過ぎてから、自分の羞恥心を捨てることができ、何事にもチャレンジできるようになりました。これから留学を考えている後輩には、わからないことは「わからない」と伝えること、現地の人々はフレンドリーで親切なので笑顔でコミュニケーションをとること、挑戦することを恐れない大切さを伝えたいです。



▲バイロンベイの牧場



▲学校の友だちとバーベキュー



▲演奏会後にオーケストラの指揮者の方と

渡邊 眞緒子 さん
国際政治経済学部3年生
(留学当時)

留学が自分の性格を変えてくれました

日本からヴァイオリンを持参して、地元のアマチュアオーケストラに参加しました。学生向けのオーケストラでは、さまざまな国から来た学生と出会え、さらにオーストラリアで生まれた日本人の友だちもつくることができました。また、社会人向けのオーケストラでは、年齢やスキル関係なく、団員全員が生き生きと楽しんで演奏していた姿が印象に残っています。留学前は、どうしても人目を気にして、不安な気持ちになりやすい性格でしたが、自分の好きなことを思いっきり楽しんで生活しているオーストラリア人を見て、考え方が変わり、自分に自信がもてるようになりました。

オーストラリアならではの体験

オーストラリアの個性あふれるコーヒーショップがお気に入りでした。ほとんどが個人経営で、店主のこだわりが詰まったユニークなお店が多かったです。自分が住んでいる地域の雰囲気が良さそうなカフェを巡るのが楽しかったです。また、オーストラリアのビーチや公園には、無料で利用できるバーベキューコンロが設置されています。自然を感じ、波の音を聞きながらのバーベキューは最高でした！

確実に向上した英語力

学問的な資料の探し方、読み方、レポートの書き方など、大学の授業に必要なスキルを学習する English Academic Program を受けたことで、英語力がぐんと伸びたと思います。先生方はとても丁寧で親身に教えてくれました。家族がオーストラリアを訪れてくれたときに、私が通訳者として現地の人とコミュニケーションをとりながら家族を案内できたことがうれしかったです。



▲お世話になったキャンパス



▲支えていただいた EAP コースのスタッフ



Australia



▲現地で知り合った親友とボートで魚釣り

福元 稜 さん
国際政治経済学部3年生
(留学当時)

後悔のない最高の1年になりました

海外の環境に身を置き、文化や言語、さまざまな人々と関わることが自分にとって成長できる最高の選択肢であると考えていました。はじめは、費用面から留学を少し躊躇していましたが、留学を振り返ると、人生で最も有意義で充実した1年間を過ごすことができ、支えてくれた両親や国際交流センターに感謝しています。

留学する前に準備しておけば良かったこと

会話するうえで最低限必要なスピーキング力とリスニング力を身につけておくべきでした。留学する前は自分の英語力を過信しており、実際に現地に行ってもまったく自分の英語が通用せず、自信をなくして話すことをためらっていた時期がありました。しかし、もともと「新しい経験や知識を得たい」と強く望んでいる性格なので、積極的に話しかけ、常に英語で物事を考えるよう意識転換することによって克服できたと思います。すべての困難は、新しい経験や自分を成長させるチャンスだと考えて乗り越えることが大切です。

学校以外での生活

インターンシップ先では、オーストラリアはもちろん、ニュージーランド、コロンビア、フィリピン、南アフリカ、イギリスなど、さまざまな国のスタッフが働いており、数少ない日本人として貴重な環境に身を置くことができました。仕事をきっかけに互いの生い立ちや母国の文化の話を共有し、新たな友人から新たな価値観を得ることができ、刺激的な日々でした。たまに、職場のメンバーで食事をしたり、ボーリングをして遊んだり、釣りに行ったりしました。

ホストファミリーは、とても優しくフレンドリーな方たちでした。留学生用の部屋が自分の部屋とちょうど部屋あったので、1年間でふたりの留学生と生活をしました。ほぼ毎日夕飯をいっしょに食べて、その日の出来事や過去の経験談などさまざまな会話を交わしました。基本的に授業がない日は、朝に散歩をしてから課題や勉強に取り組み、その後カフェやショッピングに行っていました。家からビーチがとても近い場所に住んでいたため、ひとりで散歩に行き、現地の人々と会話をすることが日課でした。留学を通して出会った人々にはとても恵まれていたと思います。



▲プロサーファーの試合観戦



▲クラスメイトと先生



派遣留学プログラムについての詳細は20ページからをご覧ください。



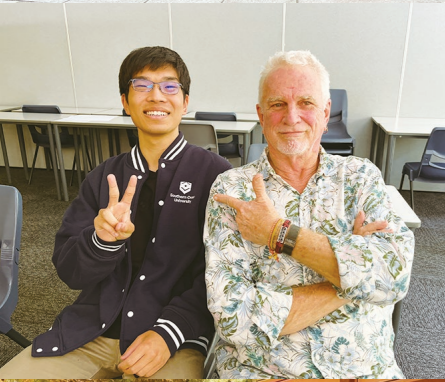
短期海外語学研修への参加を決めた理由は？

オーストラリア：幼いころから海外の文化に触れ、**外国人とコミュニケーションをとりたい**という夢があり、英語を話せるきっかけがほしいと思ったからです。

オーストラリア：高校生のときにアメリカに行ったことがあり、**大学生のうちにもう一度海外に行きたい**と思ったのが理由です。

韓国：高校時代に学校で異文化交流の機会があり、それがきっかけで異文化理解に興味をもっていました。**ホームステイは現地のリアルな生活を体験**できると思い、参加を決めました。

韓国：**研修先に高麗大学があったので、二松学舎大学へ入学しました！**入学したら、絶対高麗大学への短期海外語学研修に参加すると決めていました。



研修先の雰囲気・生活の様子

オーストラリア：キャンパスは自然に囲まれていて、**運が良ければコアラが見られる場所**でした。時間がゆったりと流れていて、日本では体験できないようなアクティビティや勉強ができました。

韓国：キャンパスは誰もが憧れる立派な造りでした。広大な土地に、大きな講堂、歴史を感じる外観からは一転した近未来的な造りのキャンパスもあり、キャンパスツアーが楽しかったです。

オーストラリア：毎週水曜日に行われるアクティビティ先で出会った人とコミュニケーションをとったり、学校ですれ違う人とあいさつを交わしたり、日本では感じるの**できないような人のあたたかさ**に触れることができました。ホームシックになることなく3週間を大切に過ごすことができましたと思います。



短期海外リアル



語学研修 ボイス



得たもの・成長した点

韓国：語学力が圧倒的に伸びました。語学習得だけでなく日本でも

できていると思っていましたが、実際に現地に行って、ネイティブが話す韓国語を聞き、たくさん会話してみると驚くほど力がついたと思います。ホストファミリーにも「**語彙が増えたね**」と褒められました。

3週間の研修で、韓国語が少しも上達しないまま帰国するのは恥ずかしいと不安だったので、家の近所にあったキンパ屋さんとコンビニに通って自分から積極的に店員さんに話しかけていました。仮に間違った韓国語を話したとしても「**話したもん勝ちだ！**」と当たって砕ける精神のおかげで、圧倒的にリスニングとスピーキングが鍛えられたと思います。

オーストラリア：研修前に、文法をある程度理解し、ネイティブキャンプや毎日リスニング学習を欠かさず行っただけで留学に行きましたが、現地の英語ははるかにスピードが速くて動揺しました。しかし、わからないことや聞き取れなかったことは、相手に聞き直したり素直にわからないと伝えることで、そこからまた話が広がっていきました。

一番大事なことは、相手とどのようにコミュニケーションをとるかです。相手から話しかけられることを待つことが多かったですが、それでは語学研修の意味がないと気づき、積極的に挨拶をしたり、質問したりしました。単語や文法が間違っても、周りのネイティブスピーカーが正してくれます。こんな恵まれた環境はないと思い、**間違えることに恐怖心がなくなりました**。同時に、**自分を高める気持ち**を育むことができました。

学習内容について

オーストラリア：単語や文法、発音などの基礎スキルを上げる授業だけではなく、詩を書いたり、オーストラリアの固有動物の特性や種類を学んだり、動画を見てそこから自分で情報収集をしたり、ホストファミリーにインタビューを行ったり、**机に向かって行う授業以外も充実**していました。課題の量はそこまで多くなく、授業最終日にオーストラリアの祭りについてのグループプレゼンテーションがありました。先生は、ゆっくりハッキリ話してくれるので、理解しやすかったです。また、積極的に学生が発言できるような場をたくさん設けてくださり、授業外でも気軽にコミュニケーションをとってくれました。

韓国：**レベルごとにクラス分け**されていて、先生方はレベルに合わせた話方をしてくれるので、オール韓国語の授業もしっかりと理解できました。学生たちの表情を見ながらひとりでもわからない学生がいたら、言葉を言い換えて説明してくれます。授業内容としては、リーディングやスピーキングが多く、ライティングは少なかったように感じます。課題は重要な文法、単語の復習、習った文法を使った作文などが出ました。課題のチェックも一人ひとり丁寧してくれます。**現地の韓国人学生と交流する「トウミ制度」**を通して、韓国の文化や習慣を学びながら、リスニング力も上がったと思います。

ホームステイについて

オーストラリア：ホームステイ先によると思いますが、私の滞りした家庭は、水道が通ってなく、雨水をタンクに貯めて、ろ過して使っていたため「シャワーは5～10分」「洗濯は週末に1回」など、日本だと馴染みのないルールがありました。カルチャーショックを受けるかもしれませんが、**オーストラリアでは当たり前**と思って、異文化を楽しむことが大切です。

優しく私を受け入れてくれて、完璧な英語でなくても、相手に伝えようとする気持ちと表現力でたくさんコミュニケーションをとることができました。住まいは、大学から車で3分ほどの場所でしたが、毎日送り迎えをしてくれました。食事もオーストラリアならではのバーベキューやホストマザーの手づくり料理など、現地の食文化を体験できました。**家族のみんなは私を楽しませよう**と週末の予定を念入りに考えてくれ、その気持ちがとてもうれしかったです。

韓国：ホームステイ先のオンニ（お姉さん）と出会えたことが一番の宝物です。夜食をつくってくれたり、いっしょに映画やドラマを見たり、市場に行って屋台でご飯を食べたり、恋バナをしたり、数え切れない思い出があります。**実の妹のように接してくれ**、不自由なことはなにひとつありませんでした。願いが叶うなら、もう一度オンニの家にホームステイをしたいです！

はじめは、人見知りな性格のうえ、韓国語でコミュニケーションをとることが不安でしたが、あたたかく出迎えてくれたおかげでだんだん緊張がほぐれました。**私が食べることが好きだと知って、毎日夜食に韓国料理を振舞**ってくれました。漢江、オリンピック公園、蚕室、峨嵋山など、いろいろな場所に連れていってくれました。朝食は、コーンフレーク、パン、白米、韓国のり、キムチなどのおかず類、ヨーグルト、フルーツ、納豆など、自由に食べて！というスタイルでした。





二松学舎大学は 留学するみなさんを 応援しています！

Q 留学する前の自分に伝えたいこと

オーストラリア：ホームステイ先への日本のお土産は必須です。折り紙など、日本らしいものをもって用意しておけば良かったです。また、海外の映画やドラマを見て**日常会話で使えるフレーズを覚えておく**と便利だと感じました。

韓国：韓国のおすすめスポットや人気のレストランなど、**下調べ**しておいたほうが良いです。研修の目的はあくまで勉強ですが、現地ではすべてが学びにつながるので、3週間という限られた時間を最大限に活用してください。

Q 後輩へのアドバイス

オーストラリア：チャンスがあるなら絶対に行ったほうが良いです。渡航前は不安がいっぱいあるかもしれませんが、現地に行っても、毎日いろいろなことに驚いて戸惑うかもしれません。でも、それでいちいち止まっていたら何もできないので「そういうもんだ」「日本と違っておもしろいな」と考えれば、案外どうとでもなります。また、3週間なんて一瞬で終わってしまうので、毎日充実するように**自主的に動くことが大切**です。

韓国：さまざまな理由で参加することを迷っている方がいると思います。当時、私は韓国語の勉強を始めて1年しか経っていません、ほとんどできない状態だったので、参加を迷っていました。ですが、実際は**経験しないと学べないことばかり**です。自分の韓国語のレベルや日韓の関係を気にして参加しないにはもったいないプログラムです。韓国語を学びたいという強い気持ちがある方は、必ず有意義な時間を過ごせる3週間だと思います！

事前準備で自分の留学が変わると思います。自分は短期の留学だったため、**ただの旅行にならないようにしよう**と決めていました。事前の英語学習の計画を立てることで、留学の目的がはっきりすると思います。

使い慣れた単語帳と文法の参考書を持っていきましたが、現地では本で学ぶというより話して実感することがとても大切です。先生が言っていたこと、ホストファミリーとの会話の中に出てきた単語でわからないこと、うる覚えのことを**復習し、アウトプットすることが英語を上達させるコツ**です。ぜひ一生の思い出をつくりに行ってください。頑張ってください！

「3週間も日本を離れてホームステイで暮らすなんて無理」と思うかもしれませんが、**3週間はあっという間**です。思いっきり楽しんで、思いっきり勉強してください。ホームステイでの経験は最高の思い出になります。

また、仲の良い友だちといっしょに行くことをおすすめします。友だちがひとりいるだけで、安心できるし、楽しさが何百倍も変わります！



私は留学で人生が変わってしまいました。三年間の韓国留学で、自分はどのように生きるべきかという大問題について、明確な答えを得ることができたのです。それほど大きなことでなくても、留学には人生を変えるヒントが詰まっています。まず、日本にいては決してわからないことに目を開くチャンスです。その国の空気を吸い、その国の人々と実際に接し、その国の雰囲気を肌で感じることで、単なる知識にとどまらない貴重な体験をすることができます。さらに、留学は日本を知るためにも役に立ちます。外国にいるほうが、日本のことがよくわかるようになることも少なくありません。留学は本当に貴重な出会い、新しい自分自身との出会いのチャンスです。ぜひ皆さんにこの機会を活用していただきたいと思います。

国際交流センター長
塩田今日子 教授

学生時代の留学経験は一生モノの財産です。居心地のよい環境から一歩踏み出し、自らの責任で学業や生活全般を走り回って、困った時には周囲の支援も得ながら解決することで、外国語でのコミュニケーション能力や交渉力、生きていくための知恵と自信が身につきます。様々な価値観や考えを持つ友人との交流を通じ、より豊かな人生観を育みましょう。留学で培った実力と自信は、就職活動以降のキャリア形成においても、必ず皆さんを支えてくれます。

キャリアセンター
稲垣美沙子 特別任用教授

保護者の皆様へ

若い頃に日本の外に出て外から日本を見ることは、一生の財産になります。外国の言葉や文化を学んでスキルアップができるのはもちろん、さまざまな人や考え方に出会い、自分自身をより深く知ることができるからです。昨今は日本円の下落により金銭的な負担が増えたため、留学をためらう学生も増えていますが、どうか学生がお金には換えられない貴重な体験ができるよう、後押しをしてあげていただけませんか。

国際交流センター長
塩田今日子 教授

本学の留学制度に興味をお持ちいただきありがとうございます。留学を思い立ったら専門家に相談してみませんか。3000人以上の留学相談の経験から、一人ひとりの目的に合わせた留学を見つけるお手伝いをします。留学先、時期、予算、魅力、注意点などを交えて、留学の効果を最大限にする計画を提案します。

国際交流センター
斉田智明 留学カウンセラー

本研修は参加学生から非常に高い満足度（最高評価）を得ています。

★★★★★ 2023年春期参加学生による事後アンケートの結果より

<p>本研修について</p> <p>全員 100%</p> <p>大変価値がある</p>	<p>研修前と後の語学力</p> <p>全員 100%</p> <p>向上した</p>	<p>ホームステイでの生活や交流</p> <p>全員 100%</p> <p>大変よかった</p>
--	---	---

短期海外語学研修プログラムについての詳細は16ページからをご覧ください。



アメリカ

世界第2位の広大な国土を持ち、10の州と3つの準州から成るカナダでは200を超える民族文化が調和しています。英語とフランス語を公用語としており、2つの言語が話されています。西部のバンクーバーや東部のトロントは世界で最も住みやすい都市として、常に選ばれています。



カナダ

さまざまな分野で世界をリードし、各州が自治権を持ち国家のように存在しているアメリカ。最も古いエリアとして知られる北東部、カントリーサイドという印象の強い中西部、独自の音楽や料理が発達する南部、移民、起業などあらゆる面で寛容的な西部など、訪れる地域により雰囲気異なり、常に異なった表情を見せてくれます。



英国

EUを離脱し、新しい歩み始める英国。古くから伝わる「伝統」と常にイノベーションを追及する姿勢から生み出された「最先端」が融合している国です。イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドで構成され、地域ごとに違った顔を持っています。芸術やファッション、スポーツ、音楽など、さまざまな魅力ある文化であふれ、なかでもロンドン世界的大都市です。

人口・国土面積ともに世界的なスケールを誇る中国は、日本と最も古くから親交のある国です。数千年の歴史によってつくりあげられた芸術と文化、美しい風景、パワフルな人々など、ダイナミックさには驚かされます。大都市の北京をはじめ、近代化が進む上海、西湖のある古都杭州、少数民族が暮らす華南など、何度訪れても飽きない魅力がたくさんあります。



中国



台湾

異国であることを忘れてしまうような懐かしさが感じられる台湾。親日国として日本語を話せる台湾人も多く、人々の温かい心にふれることができます。「グルメ大国」としても有名な台湾の料理は、日本人好みの味。また、熱帯・亜熱帯・温帯の3つの気候を持ち、トロピカルな自然を維持しています。

日本の隣国である韓国は、政治、経済、教育、文化、社会など、すべての中心地である首都ソウル、文化遺産や壮大な自然が残る中部地域、国内最大の港である釜山など、それぞれの土地によって独自の文化を築いてきました。コリアンフード、史跡巡り、ショッピング、K-POP、伝統芸能など、楽しみ方は多岐にわたります。美意識が高い韓国ならではのさまざまな体験も人気です。



韓国

留学が可能な海外大学・交流のある海外大学

- 短期海外語学研修
 - 大学院生のみ対象の派遣留学
 - 派遣留学
- ※留学先は変更になることがあります。

英語で留学できる

- アメリカ
 - サンフランシスコ州立大学 ●
- 英国
 - ケンブリッジ大学 ●
 - バッキンガム大学 ●●
- オーストラリア
 - サザンクロス大学 ●●
- カナダ
 - フレージャーバレー大学 ●●
- 台湾
 - 銘伝大学 ●

- 【その他の言語および大学院】
- フランス
 - ホルドー・モンテーニュ大学 ●
 - リール大学 ●
 - イタリア
 - カ・フォスカリ大学 ●
 - ハンガリー
 - エトヴェシュ・ロランド大学 ●

中国語で留学できる

- 中国
 - 北京大学 ●●
 - 浙江工商大学 ●●
 - 浙江外国语学院 ●●
 - 周口師範学院 ●
- 台湾
 - 中国文化大学 ●
 - 銘伝大学 ●

- 【その他交流のある大学】
- 中国
 - 温州大学
 - 嘉興学院
 - 河北科技大学
 - 河北民族師範学院
 - 河南大学
 - 江西師範大学
 - 山東大学
 - 山東財経大学
 - 四川外国語大学
 - 紹興文理学院
 - 浙江越秀外国語学院
 - 浙江財経大学
 - 浙江財経大学東方学院
 - 浙江大学寧波理工学院
 - 浙江農林大学
 - 浙大城市学院
 - 鄭州大学
 - 德州学院
 - 寧波工程学院
 - 聊城大学
 - 魯東大学

韓国語で留学できる

- 韓国
 - 高麗大学校 ●
 - 建国大学校 ●
 - 成均館大学校 ●
- 台湾
 - 文藻外語大学
- 韓国
 - 釜山大学校

二松学舎大学のグローバル

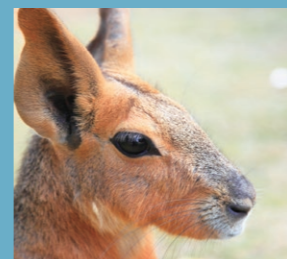
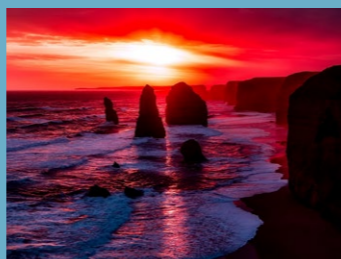
短期海外語学研修・派遣留学が可能な国

ネットワーク

オーストラリア



地球上で最も小さな大陸でありながら、日本の約21倍の面積を持つオーストラリアは、親日家が多いことでも知られています。20の世界遺産と無数の国立公園が存在し、カンガルー、コアラ、カモノハシなどのオーストラリアの固有動物にも出会えます。南半球のため日本とは季節は逆なので、真夏のクリスマスを体験できます。壮大な自然と近代的で洗練された都市に魅了されて、世界中から留学生が集まっています。



イタリア



現代と古代が共存する街ローマ、ルネッサンスの時代を感じられるフィレンツェ、水の都として名高いヴェネツィア、活気あふれる人々が行き交うミラノ…どの街を訪れてもそれぞれが個性を持つ国イタリア。誰もが目を奪われる文化遺産の宝庫であり、グルメやファッションも楽しみのひとつです。

ヨーロッパでも親日的な国で知られるハンガリー。「ドナウの真珠」と称された首都ブタペストは、歴史的建造物が立ち並ぶ洗練された街です。一方で、自然豊かな農村や大平原にも恵まれています。また、温泉大国として知られ、古くから温泉文化が根づいています。



ハンガリー

留学までのステップ



4年間の大学生活のなかで留学や語学研修を実現するためには、入学と同時に計画を立てるなど早めにはっきりと準備することが必要です。下記の表を参考に、留学の計画を立てましょう。

募集説明会の日時（オンラインでの実施予定です）

★短期海外語学研修募集説明会（短期留学）

【夏期】5月9日（木） 12:30～12:50 | 5月13日（月） 12:30～12:50
 【春期】10月2日（水） 12:30～12:50 | 10月10日（木） 12:30～12:50

★交換留学プログラム募集説明会（長期留学）

【英語圏】英国・オーストラリア・カナダ・銘伝大学（台湾）への留学希望者
 5月14日（火）12:30～12:50
 【韓国語圏】韓国への留学希望者
 5月16日（木）12:30～12:50
 【中国語圏】中国・中国文化大学（台湾）への留学希望者
 9月18日（水）12:30～12:50

入学直後が
おすすめ

留学を思い立ったら

留学の約1年半～1年前

留学の約9～4ヶ月前

留学の3～1ヶ月前

計画の立案

『留学の目標』は明確ですか？ 将来なりたい理想の自分をイメージして短期・長期留学を計画しましょう。

- 留学で得たいもの、やってみたいことは何ですか？
- 留学で得たものをどのように活用しますか？
- 興味のある国・地域はどこですか？
- いつ留学をしたいですか？
- 保護者や家族の理解はありますか？
- 資金計画はできていますか？
- 就職活動との兼ね合いはできていますか？

新1年生 必見

【本学の留学制度の説明会を開催します】

4月12日（金）12:25～12:55

場所：オンライン
 会場URL：<https://nisho-univ.webex.com/meet/icenter1>

短期留学

長期留学

募集説明会に参加

留学の準備

- 留学カウンセリング（国際交流センターにて）
- 語学検定試験の受験
- 留学フェアに参加
- 学内実施の外国語課外講座（IELTS・HSK等）や外国語試験対策課外講座の利用
- 学内の異文化交流行事等への参加

留学先の検討

募集説明会に参加

プログラムへの申込

渡航前オリエンテーションおよび
危機管理セミナーに参加

応募書類の提出

- 【書類の一例】
- 留学願
 - 留学計画書 語学力を証明する書類

審査会（学内選考）の実施

学内選考合格者は協定校へ出願準備

- 同じ言語圏で他大学の可能性またはオンラインでの受講
- 【書類の一例】
- 所定の申請書 在籍証明書／成績証明書
- 財政能力証明書 パスポート

留学先大学からの入学許可書到着

渡航準備

- 留学先国のビザ申請
- 奨学金・助成金の各種手続き
- 海外旅行保険加入 航空券手配
- 寮・ホームステイ先の選定
- 感染症情報、入国制限などの確認等々

渡航前オリエンテーションおよび
危機管理セミナーに参加

<実際の計画例①>
 サザンクロス大学
 （オーストラリア）に
 3年生の4月から留学

- 指導教員に相談
- 留学の準備
- 計画の立案

入学前・大学1年生

大学1年生

- 英語圏の短期海外語学研修に参加（8月・2月頃）（任意）
- 英語試験IELTS受験（3月頃）

<実際の計画例②>
 北京大学（中国）に
 3年生の9月から留学

- 指導教員に相談
- 留学の準備
- 計画の立案

大学1年生

- HSK対策講座の参加（7-8月頃）
- 中国語試験HSK等受験（7-8月頃）
- 中国語圏の短期海外語学研修に参加（8月・2月頃）（任意）

- 募集説明会に出席（5月中旬頃）
- 応募（5月下旬頃）
- 学内選考合格（7月頃）
- 出願準備（10月頃）

大学2年生

大学2年生

- 渡航準備（1月頃）
- 渡航前オリエンテーションに参加（1-2月頃）
- IELTS試験の再受験（12月頃）
- IELTS対策講座に参加（5月～）

- 募集説明会に出席（9月）
- 応募（10月中旬頃）
- 学内選考合格（12月頃）

大学3年生

- 出願準備（4月頃）
- 渡航前オリエンテーションに参加（6-7月頃）
- HSK再受験（6-7月頃）
- 渡航準備（7月頃）

入学前・1年生・2年生・3年生のあなた

留学先へ出発

留学の約1年～10ヶ月前

留学の約9～4ヶ月前

留学の3～1ヶ月前

短期留学
（短期海外語学研修）

確認しましょう

最終年次となる4年生の留学は「短期留学」となります。学生最後の長期休暇期間を有意義に過ごしましょう。

- 卒業に関わる単位数は修得していますか？
 - 短期留学で修得できる単位は認定されないことがあります。
- ※研修の単位は、原則、総合教養科目として認定されます。 ※2月実施の研修は参加不可、または単位認定がありません。

留学先の検討

募集説明会に参加

プログラムへの申込

渡航前オリエンテーションおよび
危機管理セミナーに参加

4年生のあなた

短期海外語学研修プログラム

※派遣先の国が定める入国制限措置等により実施されない場合があります。
また、オンラインによる留学プログラムについては、国際交流センターにお問い合わせください。

単位認定について

- 1) 単位認定
 - ① 1回の研修につき2科目4単位または1科目2単位が認定されます。
 - ② 短期海外語学研修に複数参加した場合、他言語、同一言語にかかわらず、最大4回の研修まで単位認定を行います。

※ただし、同一言語の研修について同一研修先大学での2回目の研修を希望する場合は、事前に国際交流センターにご相談ください。

- 2) 認定科目区分：総合教養科目
- 3) 認定科目名

短期海外研修①（言語名：研修先大学名）……………2単位
短期海外研修②（言語名：研修先大学名）……………2単位

【例：「短期海外研修①（英語：ケンブリッジ大学）」】
- 4) 単位認定方法：Z（認定）またはD（不合格）の評価となる。
(研修終了時に授与される修了証をもって、単位が認定される。)

海外語学研修費用の助成について

短期海外語学研修に参加する学生に対し、参加が決定した全学生には研修費用の助成金を支給します。助成額等の詳細については、別途ご案内します。

※研修費用とは、現地での語学研修費用および渡航費等の本質的な研修実施にかかる学生負担分を指します。ただし、学生個人が負担する海外旅行保険費用および個人の使用を目的とした支出（通信費用、支度にもなる物品購入等）にともなう費用は含めないものとします。

海外渡航をともなわない「オンライン留学」も充実しています。本学の協定校や外国大使館・海外政府公的機関などが主催または監修するオンライン講座には、さまざまなものがあります。内容は、異文化理解や初心者対象の語学講座から、大学教員による本格的（専門的）な授業まであり、受講形式も、一人で受講するものから、他国や他の大学からの学生も参加し、相互にコミュニケーションできるものまで、実にさまざまです。また、受講後に、受講証明書（有料のことが多い）が発行される講座もあります。「オンライン留学」で検索してみましょう。



短期海外語学研修プログラム 募集説明会の日程

(オンラインでの実施の予定です。詳細は国際交流センターからの案内を確認ください)

夏期 5月9日(木) 12:30～12:50 | 5月13日(月) 12:30～12:50

春期 10月2日(水) 12:30～12:50 | 10月10日(木) 12:30～12:50

※応募を検討している学生は、上記いずれかの説明会に出席してください。出席できない場合は国際交流センターにお問い合わせください。

要注意！早めの申込を！

夏期の研修の申込締切は

2024年5月17日です。

※一部の研修は前年度に締切ることがあります。

実施予定 (同言語圏・同時期にいずれかひとつの実施になることがあります)

言語	時期	留学先	国	費用(目安)	滞在方法
英語圏	夏	ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ (ケンブリッジ)	英国	100万円	学生寮
		フレーザーバレー大学 (バンクーバー郊外)	カナダ	75万円	ホームステイ
	春	サンフランシスコ州立大学 (サンフランシスコ)	アメリカ	100万円	ホームステイ
		バッキンガム大学 (バッキンガム)	英国	80万円	ホームステイ
		サザンクロス大学 (ゴールドコースト郊外)	オーストラリア	70万円	ホームステイ
中国語圏	夏	北京大学 (北京)	中国	50万円	学生寮
	春	浙江工商大学 (杭州)	中国	35万円	大学の指定宿舎
		銘伝大学 (台北) ※台湾内の他大学になる可能性あり。	台湾	35万円	学生寮
韓国語圏	春	高麗大校 (ソウル)	韓国	45万円	ホームステイ
		建国大校 (ソウル)	韓国	35万円	学生寮

※プログラムの詳細は17ページをご覧ください。 ※研修先や申込締切等の詳細は、LiveCampusの学内連絡にてお知らせします。
※その他の国の研修の実施も計画しております。詳細はLiveCampusの学内連絡にてお知らせします。 ※渡航制限、日程、派遣先、費用、定員などの諸事情により、変更・中止となる場合もあります。

二松学舎大学の短期海外語学研修は、研修期間が約3週間で、春・夏休みなどの長期休業期間中に行われます。国際的に高い評価にある大学で学び、語学力の向上や異文化体験はもとより、現地大学講師による専門講義、ホームステイや大学寮での生活、現地の大学生・ホストファミリーとの交流など、グローバルマインドを養う良い機会です。修得した単位は卒業に必要な単位に計上することができます。

語学研修プログラムの参加条件

- ① 研修趣旨を理解していること
- ② 心身ともに健康で、異文化に適應できること
- ③ 団体生活で本学・派遣先大学の指示に従うことができること

1 ケンブリッジ大学 ホマートンカレッジ

英国



国際的に最高水準にあるケンブリッジ大学は31校のカレッジにより構成され、中でも所属学生数が、最も多く、敷地の広さも最大規模のカレッジであるホマートンカレッジは、ヒルズロードという高級住宅街に位置しています。

プログラムの特徴

ケンブリッジ大学による公式な英語研修プログラムです。英語授業と専門科目の講義で構成されており、同大学講師から直接学ぶ講義、小旅行(ロンドンやストーンヘンジ等)、伝統的なフォーマルディナーなど英国らしい体験が魅力です。同大学生・院生が日常生活の世話、学習の補助、レクリエーションの運営にあたります。修了者にはケンブリッジ大学より公式修了証書が発行されます。

期間	2024年8月4日～8月17日
募集人員	10名程度(最少催行人数1名)
研修費用	100万円前後
応募条件	・学部生1～4年次 ・英語力テスト (IELTS4.0以上またはTOEIC450点以上) に相当する英語力があることが望ましい
申込締切	2024年5月17日 ※一部、3月に締切ることがあります。

2 フレーザーバレー大学

カナダ



ブリティッシュコロンビア州のアボツフォードという治安の良い小さな町にある4年制の州立大学です。アボツフォードはバンクーバーから東に車で1時間ほどの距離にあり、幅広い科目を持つ専門プログラムやキャリアプログラム、ESLプログラムを持ち、約16,000人もの学生と世界約60か国からの留学生が学んでいます。

プログラムの特徴

大学の周辺にはフレーザー川やペイカー山があり、自然に恵まれた研修地です。キャンパス内には学食、図書館、PCルーム等があり、学習環境が整っています。午前中はおもにスピーキングやリスニングの授業を実施、午後はカナダ人ボランティアと生活や文化を通じて英語を楽しく学べる課外活動が組まれています。

期間	2024年8月中旬～9月上旬
募集人員	15名程度(最少催行人数：未定)
研修費用	75万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次
申込締切	2024年5月17日 ※一部、3月に締切ることがあります。

3 サンフランシスコ州立大学

アメリカ



23大学あるカリフォルニア大学群の1つで、キャンパスは文化と芸術の街サンフランシスコに位置しています。ダウンタウンから20分、ビーチからも徒歩圏の距離にあります。アメリカ西部の大学で留学生の多い大学トップ10にランクインされており、キャンパスには様々な人種の学生が在籍しています。

プログラムの特徴

美術館やシリコンバレーツアーなどを通し、サンフランシスコ特有の文化、音楽、スポーツ、IT企業などを学びながら、英会話力、プレゼンテーションスキルの向上を目指した発言・会話を実践できるプログラムです。現地学生との交流もありスピーキング力を実践で向上させていきたい方にもおすすめです。

期間	2025年2月中旬～3月中旬
募集人員	20名程度(最少催行人数1名)
研修費用	100万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬



4 バッキンガム大学

1973年にサッチャー元首相の教育理念をもとに設立された英国唯一の私立大学。政府が行う学生満足度調査で過去3年1位に選出。2年間で学士号を取得できる革新的なプログラムを創設しており、英国伝統の赤レンガ校舎が並ぶ美しいキャンパスが魅力です。

プログラムの特徴

世界中から留学生が集まるグローバルなキャンパスの中で、日本人にあった英語研修と特別な交流プログラムを実施します。イングランドで最も安全なキャンパスに選ばれており、英国人家庭でのホームステイ、徒歩圏での通学など安心してすごせる生活環境が整っているため、ゆったりと英語を学べる環境です。

5 サザンクロス大学

オーストラリアの自然豊かな環境で学ぶことができる小規模な国立大学。ゴールドコーストから1時間半ほどの内陸に位置する、人口46,000人のリズモアにあるメインキャンパスは世界遺産にも指定されている美しい街並みにあります。75ヘクタールの広大なキャンパスの中には最新設備が揃っています。キャンパスには野生のコアラが生息しています。

プログラムの特徴

一般的な英語研修に加え、バラエティに富んだ課外活動も豊富に用意されています。一週間に約20時間の語学研修を受講し、外国人受け入れに定評のある指定のオーストラリア人宅にて、開放的なオーストラリアらしさあふれるホームステイ生活を体験できます。

6 北京大学

中国初の国立総合大学として1898年創設と歴史も古く、国内でもトップクラスの教育水準を誇る名門エリート校です。大都市北京の中にありながら広大なキャンパスを誇ります。北京市の中心部に近く、中国のシリコンバレーと言われる中関村にあり、頤和園の横に位置します。

プログラムの特徴

中国の最高学府である北京大学での語学研修を通して実践的な中国語能力と、中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的とした本学独自のプログラムです。北京大学講師の指導を受けながら、語学力向上と講義を体験します。京劇、雑技鑑賞、名所日跡の参観など首都北京で中国語を試す機会が豊富にあります。



英国 春期出発 ホームステイ

期間	2025年2月中旬～3月中旬
募集人員	15名程度（最少催行人数未定）
研修費用	80万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬

オーストラリア 春期出発 ホームステイ

期間	2025年2月中旬～3月中旬
募集人員	15名程度（最少催行人数1名）
研修費用	70万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬

中国 夏期出発 学生寮

期間	2024年8月上旬～8月下旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	50万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	・学部生1～4年次 ・中国籍でないこと
申込締切	2024年5月17日

7 浙江工商大学

中国の東部、上海に接する浙江省の省都杭州にある総合大学です。1911年に設立された杭州中等商業学堂を前身とし、1980年に大学に昇格し杭州商学院となり更に2004年に現在の名称となりました。100年余りの歴史があり、約25,000人の学生が在籍しています。

プログラムの特徴

中国語運用能力向上と中国の歴史・文化に対する理解を深めることを目的としたプログラムです。少人数制のクラスで、浙江工商大学講師のきめ細やかな指導を受けながら、中国歴史文化講座、名所日跡の参観などの中国文化に触れることができます。参加学生からの満足度の高い研修です。

8 銘伝大学

英語教育にも力を入れている国際的な私立大学です。キャンパスは台北の士林夜市近くに位置し、アクセスも便利です。コミュニケーション学部、デザイン学部、観光学部、国際学部などが大変有名で幅広い分野の学生が学んでいます。

プログラムの特徴

中国語運用能力向上と台湾の文化に対する理解を深めることを目的としたプログラムです。少人数制のクラスで、銘伝大学講師のきめ細やかな指導を受けながら、中国語のブラッシュアップを図るとともに、台湾文化授業、名所日跡の参観などの台湾文化に触れることができます。これまで学んできた中国語を試しながら、台湾に対する理解を深めることができます。

9 高麗大学校

高麗大学校は、1905年に設立され、韓国を代表する私立大学です。高麗大学国際語学院韓国語教育センターは1986年に設立され、毎年約3,000人余りの学生が韓国語と韓国文化の研修に参加しています。ソウル東部の落ち着いたエリアに広大なキャンパスが広がっています。

プログラムの特徴

韓国の一般家庭にホームステイしながら、高麗大学校付属韓国語センターにて韓国語の語学研修を行います。韓国語学習だけでなく、現地の文化を体験できる貴重なホームステイや、高麗大学校の学生との交流など、さまざまな文化体験活動も行います。土曜日は観光地などに赴き、社会見学をすることで、文化理解を深めます。

10 建国大学校

キャンパスはソウル中心部にあります。大学周辺は学生街となっており、食堂や大型のショッピングモールやデパートが連なり、手頃な値段のショップやレストランも多くとても生活しやすい環境です。大学内には大きな湖があり、緑豊かな美しいキャンパスです。

プログラムの特徴

設備の整った学生寮で生活をしながら、韓国語の語学研修を行います。韓国語学習だけでなく、韓国学(政治、経済、芸術など)も学ぶことができます。建国大学校の学生との交流もでき、ソウルツアーや公演観覧など様々な文化体験活動も行います。

中国 春期出発 大学の指定宿舎

期間	2025年2月中旬～3月中旬
募集人員	20名程度（最少催行人数6名）
研修費用	35万円前後
応募条件	・学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません) ・母国語が中国語の学生は不可
申込締切	2024年10月下旬

台湾 春期出発 学生寮

期間	2025年2月中旬～2月下旬
募集人員	15名程度（最少催行人数6名）
研修費用	35万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬

韓国 春期出発 ホームステイ

期間	2025年2月中旬～3月中旬
募集人員	15名程度（最少催行人数1名）
研修費用	45万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬

韓国 春期出発 学生寮

期間	2025年2月中旬～2月下旬
募集人員	20名程度（最少催行人数1名）
研修費用	35万円前後 (為替変動により費用が変更になることがあります)
応募条件	学部生1～4年次 (4年次生の参加の場合は単位認定はありません)
申込締切	2024年10月下旬

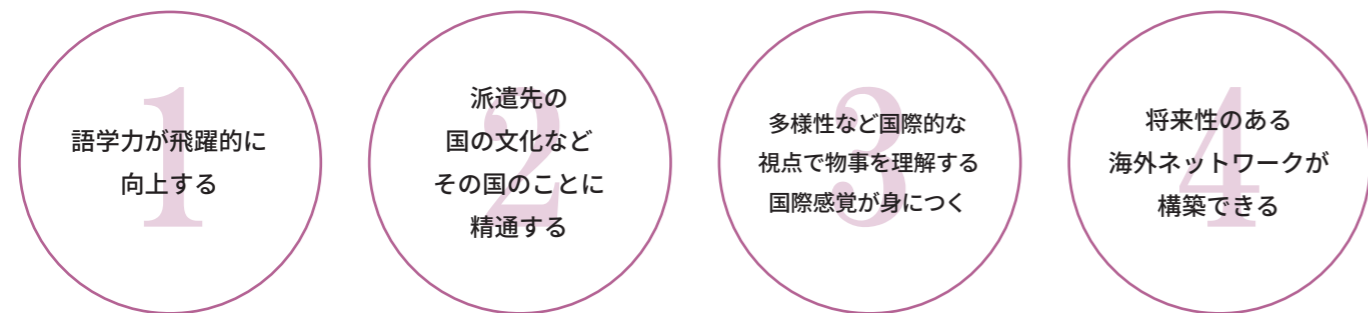
2025 年度 交換留学プログラム

本学では将来グローバルに活躍する学生のために留学の機会を提供しています。二松学舎大学の交換（派遣）留学は、留学期間1年間（または半年間）で行われ、海外協定校へ留学します。この期間は在学の修業年限に算入されるため、「休学」せずに留学することが可能です。修得した単位は卒業に必要な単位に計上することができます。※派遣先の国が定める入国制限措置や国際情勢等により実施されない場合があります。

派遣留学の魅力

～1年間で海外で過ごす経験は、自分への投資でもあり生涯の財産にもなります～

海外旅行や短期の語学研修と比較して留学期間が長い1年間の派遣留学の魅力は大きく分けて4つあります。



アカデミックイヤーとなる1年間で海外の大学で過ごす貴重な経験は、生涯忘れることのない経験でもあります。グローバルな力を高める機会にもなります。卒業後のキャリアが広がるなど大きな価値を見出すことが可能なため、自己への投資という側面があります。特に、グローバル人材に必要とされる5大要素（コミュニケーション力、外国語能力、リーダーシップ、問題解決力、環境適応力）のスキル向上に効果があるとされています。

本学ではグローバルに活躍する学生の留学をサポートするため、海外に多くの派遣留学先を整備しており、中国語圏、韓国語圏への留学は、従来どおり本学の授業料のみの納入で1年間の留学が可能です。また、英語圏への留学は、所定の要件を満たした場合、本学の授業料のみで1年間の留学が可能です。

留学期間中における授業料の支払および助成制度・奨学金の概要について

英語圏への留学においては、本来、派遣先大学への授業料を自己負担することになりますが、本学の助成制度により所定の英語力の要件を満たした場合は、派遣先大学の授業料と本学の授業料の差額の半額または全額が助成されます。全額の助成が認定された場合は、本学の授業料のみで1年間の留学が可能となります。また、中国語圏、韓国語圏への留学は、従来どおり本学の授業料のみの納入で1年間の留学が可能となります。

派遣留学先	国	言語	本学の年間授業料	本学の年間施設費	派遣先大学の年間授業料 ^(※1)	派遣留学助成金制度 ^(※2)	派遣留学生奨学金 ^(※3)					
バッキンガム大学	英国	英語	79.6万円	免除	全額負担	派遣先大学の年間授業料の半額または全額助成	月4万円					
サザンクロス大学	オーストラリア											
フレーザーバレー大学	カナダ											
銘伝大学 ※英語での授業	台湾											
北京大学	中国	中国語			79.6万円	免除	全額免除	派遣先大学の年間授業料が免除のため助成なし	月3～4万円			
周口師範学院	中国											
中国文化大学	台湾											
成均館大学校	韓国	韓国語										
ポルドー・モンテニュー大学	フランス	フランス語	79.6万円	免除						一部負担 (学部レベルの授業料は免除、付属語学機関での授業料は学生負担となる場合があります。)	派遣先大学の授業料の半額助成される場合	月4万円
リール大学	フランス											

※1) 北京大学の授業料は、帰国後、領収書と引き換えに授業料を返金する手続きとなります。
 ※2) 派遣留学助成金制度の詳細については、次ページ「派遣留学生（英語圏）助成金制度」をご参照ください。
 ※3) 派遣留学生奨学金は、本学から海外協定校に派遣される派遣留学生全員に留学期間中に支給されます。これは返還の必要のない給付型の奨学金です。詳細は37ページ（「二松学舎大学派遣留学生奨学金規程」）をご参照ください。

派遣留学生の心得

本学の派遣留学への参加は、「学生自身の自主的かつ主体的な選択と責任管理によって行う」ことを理解のうえ、渡航先の選択、渡航準備、帰国手続きを含むすべての行動を学生本人の責任において進めます。出願時に提出する誓約書（本人と保証人の同意が必要）を理解のうえ、必要な手続きと行動を進めてください。派遣留学生に選考されたのちは、留学先担当者と事前に連絡を行い、各種申請手続き等を行います。

派遣留学生の義務

① 自発的な留学手続きの実施 ② 留学先の学則の遵守 ③ 派遣期間中の月例報告書および現地レポート（動画）の提出 ④ 派遣留学期間の全期間において本学が定める条件を満たす海外留学保険への加入 ⑤ 留学先が主催する国際交流等の催事への参加

派遣留学生（英語圏）助成金制度

英語圏の海外協定校（英国・オーストラリア・カナダ）への派遣留学制度の利用に際し、本学で実施する派遣留学審査会にて「派遣留学生」と決定した学生は、助成を受けることができます。

【助成金制度の内容】
 「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額について下表の助成を行います。
 助成額については、派遣留学生の英語レベルによって、「全額助成」または「半額助成」を決定します。

	A. 派遣先大学の授業料が全額助成される奨学生	B. 派遣先大学の授業料が半額助成される奨学生
助成内容	「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額を全額助成。	「派遣先大学の年間授業料」と「本学の年間授業料」との差額を半額助成。
対象	<ul style="list-style-type: none"> 留学開始直前時点で、派遣留学先の大学学部レベル（「学部」または「大学進学準備コース」）に在籍できる英語力要件に達している派遣留学生。 または 派遣留学期間において、派遣先大学における最終在籍プログラムが大学学部レベルに達した派遣留学生。 	<ul style="list-style-type: none"> 留学開始直前時点で、派遣留学先の大学学部レベル（「学部」または「大学進学準備コース」）に在籍できる英語力要件に達しておらず、英語研修レベルの英語能力資格を所有する派遣留学生。 かつ 派遣留学期間において、派遣先大学における最終在籍プログラムが大学学部レベルに達しなかった派遣留学生。
英語力要件（目安）	IELTS 5.0 以上（派遣先大学によっては5.5以上）	IELTS 4.5（派遣先大学によっては5.0～5.5）
派遣先大学の受入レベルとコースの内容	<p>大学学部レベル</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学進学準備（ファウンデーション）コース：IELTS 5.0～6.0 相当の中級レベル。学部正規科目の授業についていくために必要となるアカデミックな英語やスタディ・スキル、専門科目を学ぶ。派遣先大学によっては学部の正規科目を一部履修。 学部：IELTS 6.0 以上相当の中上級レベル。現地大学生に混じって、学部の正規科目を履修。 <p>※各コースの要件は、必ずしも上記英語力要件と合致しない。</p>	<p>英語研修レベル</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語研修コース：IELTS 4.5～5.5 相当の初中級レベル。一般英語力向上を目的とする語学研修。大学付属の英語学校で学ぶことが多い。

※派遣先大学が定めている各受入レベル（大学学部/大学進学準備/英語研修）のIELTSの英語力要件は変更される可能性があります。
 ※派遣先大学の受入条件として、IELTS以外（TOEFL、英検等）の英語試験スコアも認められている場合は、先方が定めている英語試験の換算方式に基づきIELTSとの同等スコアを算出した上で助成内容を決めます。

【自己負担額計算事例】

	派遣先大学に支払う授業料	本学からの助成額	自己負担額
A. 派遣先大学の授業料が全額助成される場合	派遣先の授業料 (例：180万円)	100.4万円 (〔派遣先授業料180万円－本学授業料79.6万円〕 ＝100.4万円)	79.6万円（本学授業料）
B. 派遣先大学の授業料が半額助成される場合	派遣先の授業料 (例：180万円)	50.2万円 (〔派遣先授業料180万円－本学授業料79.6万円〕 ÷2＝50.2万円)	129.8万円 【内訳】 ・79.6万円（本学授業料） ・50.2万円（〔派遣先授業料180万円－本学授業料79.6万円〕÷2＝50.2万円）

※派遣先大学の授業料（概算）については、23～26ページの各協定校の概要をご参照ください。
 ※助成金の支給方法および派遣先大学への授業料の納入手続き等原則として、本学から派遣留学生への助成金の給付は行わず、本学から派遣先大学へ直接授業料を支払います。ただし、派遣先大学側の意向等により、支払方法の変更が生じる可能性があります。場合によっては、派遣先大学の授業料を、派遣留学生による一時的な立て替え（帰国後に助成額相当を派遣留学生に返金等）が発生する可能性もあります。
 ※派遣先大学の授業料の現地通貨によって計算されます。半額助成となる場合、自己負担額は為替に伴い変動します。

協定校への留学

「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づく、海外協定校への1年間（協定校によっては半年間）の交換（派遣）留学です。本学で留学希望者を募集し、所定の審査により各協定校につき最大2名を選出します。協定校によって、応募期間や資格、協定校への授業料の支払い等、派遣条件がそれぞれ異なるので、ご注意ください。

<主な特長>

- ・学籍上の取扱いは「留学」になります。
- ・派遣留学生奨学金の給付が行われます。
- ・留学期間中の本学への施設費は全額免除されます。
- ・留学先大学で修得した単位は、本学の卒業必要単位として認定されます。（条件あり）
- ・留学期間は本学の修業年限に算入されるため、留学しても学部生の場合は4年間、大学院博士前期（修士）課程生の場合は2年間、博士後期課程生の場合は3年間で卒業（修了）できる可能性があります。

学外の奨学金について

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金について

文部科学省が所管する独立行政法人日本学生支援機構（以下、機構）の奨学金で、協定校への派遣留学生を対象としています。申込は本学で行う必要があります。

※第二種奨学金（短期留学）- 貸与（利息付）

貸与型の奨学金で、返還する必要があります（在学中は無利子ですが、卒業後より利息が計上されます）。貸与月額は、3万円・5万円・8万円・10万円・12万円からの選択制で、留学期間中に限り貸与されます。申し込みには連帯保証人が必要です。希望者は、本学を通して申請し、機構の審査を経て決定されます。留学時期により募集時期が異なるので、希望する場合は早めに問い合わせてください。

応募書類

- ① 留学願（大学所定の用紙に記入）
- ② 留学計画書（大学所定の用紙に記入）
- ③ 語学力を証明する書類

帰国報告書

（留学を終えて帰国した者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出すること）

- ① 留学終了届
- ② 帰国報告書
- ③ 在籍期間証明書
- ④ 成績証明書



長期交換留学プログラム 募集説明会の日程

（オンラインでの実施の予定です。詳細は国際交流センターからの案内を確認ください）

英語圏 バッキンガム大学（英国）・サザンクロス大学（オーストラリア）・フレーザーバレー大学（カナダ）・銘伝大学（台湾）

※銘伝大学においては英語での授業となるため、英語圏の派遣留学となります。

5月14日（火）12:30～12:50

韓国語圏 成均館大学校（韓国） **中国語圏** 北京大学（中国）・周口師範学院（中国）・中国文化大学（台湾）

5月16日（木）12:30～12:50

※応募を検討している学生は、上記いずれかの説明会に出席してください。話を聞いてみたいというだけでも構いません。

※フランス語圏の募集説明会は実施しない予定です。興味のある学生は国際交流センターまで2024年7月までに問い合わせてください。

先輩 VOICE



落合 結希 さん

文学部 中国文学科 4年（留学開始時）

留学先：北京大学（中国）

期間：2021年9月～2022年7月

留学計画は早めに。留学中も自分の視野を広げる努力をすること。

Q. 早めに留学計画をしたことで、どんなメリットがありましたか？

私は、二松学舎大学に入学した直後から中国語検定の合格を目指し過去問を解いていました。検定に合格してからは中国語ネイティブの友人と相互学習という形で会話練習をしていました。早くから準備をし、留学前からとにかく外国語としての心理的障壁を取り除くことを意識していたので、留学がはじまってからも中国語で進行する授業も抵抗なく楽しんで受けることができました。

Q. 留学中に、自分の世界が広がったと感じた瞬間
中国語を勉強するほかの国の学生との出会いです。同じ中国という国に向き合い、机を並べていましたが、

クラスメイトのもつ背景は全く異なるものでした。韓国は似たような慣習があったり、逆に欧米諸国には全く違う文化があったりで、驚きの連続でした。それを中国語で紹介しあったとき、今まで自分が見ていた世界とは別の世界を見たような感覚になりました。

Q. 後輩へ向けたアドバイス

留学に行ったという事実のみに甘んじるのではなく、積極的に自分の視野を広げる努力を継続することが最も大切であると考えています。留学期間はあっという間に過ぎていくので、少しでもやりたいことは挑戦してみる、わからないことは質問して、経験を自分の糧に変えていってください。周りも夢を追いかけるあなたを応援してくれます。頑張ってください！

1 バッキンガム大学

ロンドンから電車で1時間ほどにあり、英国伝統の赤レンガ造りの建築が並ぶ美しいキャンパス。公的な大学調査で、学生満足度において英国1位に選出された総合大学で、きめ細かな学生ケアに定評があります。

サッチャー元首相が創設したことで知られています。

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験 IELTS 5.0 以上を取得 ※申込期限（6月7日）までに IELTS スコアを提出できない学生は、IELTS スコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月8日までに IELTS を受験し、6月21日までに IELTS スコアを提出すること。 ④ 履修科目全体の GPA 2.5 以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試験 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が満額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。	派遣先コースの 英語力要件（目安）	・大学学部レベル：IELTS 5.0 以上 ・英語研修レベル：該当なし
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記のプログラムを履修：大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）。IELTS が 5.0 の場合は大学準備コースを9月から履修開始。IELTS が 5.5 以上の場合は大学準備コースを4月から履修開始。IELTS が 6.0 以上の場合は大学学部での授業（理系等を除く一般的な科目）が4月もしくは9月から履修可能。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、英語研修においては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。例外として特定の科目（理系、アート、音楽等）は認定されないこともある。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	① 原則としてバッキンガム大学キャンパス内宿舎または徒歩圏内の周辺学生寮（1か月約8～10万円）。大学の宿舎は複数あり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。 個室（主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi）。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。英国ポンド 190 円で試算） 【宿泊費】150 万円 【航空運賃・ビザ申請料】30 万円 【海外旅行保険】15 万円 【健康診断料】2 万円 【食費、その他】100 万円 【※学費】0 円～60 万円 【合計】300 万円～350 万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、バッキンガム大学への授業料負担分（約60万円）がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				

2025年9月～2026年6月（予定）

英国

※英語力により2025年4月からの留学が可能な場合もあります。

申込締切 2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照
場所：国際交流センター（5号館5階）

募集人数 原則として1名以内 URL www.buckingham.ac.uk

2 サザンクロス大学

ゴールドコーストから1時間半の内陸に位置するリズモアのメインキャンパスは、世界遺産に指定されている自然に囲まれた地域にあり、校内には野生のコアラが生息する大学です。75ヘクタールの広大な敷地には図書館、科学実験ラボ、劇場、ジムがあり、派遣学生は利用が可能。また、ゴールドコーストにもキャンパスがあります。

2025年4月～2026年3月（予定）

オーストラリア

※英語力により2025年2月下旬からの留学となる場合もあります。その際の留学終了日は2026年2月上旬になります。

申込締切 2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照
場所：国際交流センター（5号館5階）

募集人数 原則として1名以内 URL www.scu.edu.au

応募資格 (応募時)	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験 IELTS 5.0 以上を取得 ※申込期限（6月7日）までに IELTS スコアを提出できない学生は、IELTS スコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月8日までに IELTS を受験し、6月21日までに IELTS スコアを提出すること。 ④ 履修科目全体の GPA 2.5 以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者				
審査	書類審査 面接試験 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・派遣先大学の授業料負担に関しては本学より一部助成。また、助成金が全額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はなし。	派遣先コースの 英語力要件（目安）	・大学学部レベル：IELTS 6.0 以上 ・英語研修レベル：IELTS 5.0～5.5 他の英語能力試験でも申請可能な場合があります。
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記プログラムを履修：大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）、英語研修。 留学開始時に IELTS 5.0～5.5 の場合は、10 週程度の英語研修後、次学期は大学学部での授業（理系科目等を除く広範な科目から選択可能）を履修。同様に、留学開始時に IELTS 6.0 以上の場合は、初学期から大学学部の授業（理系科目等を除く広範な科目から選択可能）が履修可能。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、語学プログラムにおいては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。例外として特定の科目（理系、アート、音楽等）は認定されないこともある。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。				
生活環境	① 原則としてサザンクロス大学指定のホームステイまたは学生寮（1か月約6～8万円） 大学の宿舎が徒歩圏か近郊（バスでの通学）に複数あり、仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。 個室（主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi）。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。				
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。豪ドル 100 円で試算） 【宿泊費】100 万円 【航空運賃・ビザ申請料】20 万円 【海外旅行保険】10 万円 【健康診断料】2 万円 【食費、その他】100 万円 【※学費】0 円～55 万円 【合計】220 万円～270 万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、サザンクロス大学への授業料負担分（約50万円）がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。				
備考	① 取得した IELTS の Overall のスコア以外に Reading, Listening, Writing, Speaking の各スコアにより、派遣開始時期が変更になることがある。 ② 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。				

3 フレーザーバレー大学

世界で最も住みやすい都市として知られるバンクーバーから東に車で1時間、ブリティッシュコロンビア州のアボツフォードという治安の良い町にある4年制の州立大学。カナダらしい雄大な自然を満喫できます。専門プログラムやキャリアコース、語学コースを持ち、約16,000人もの学生と世界約60か国からの留学生が学んでいます。

応募資格（応募時）	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ IELTS 4.5以上を取得 ※申込期限（6月7日）までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限までに国際交流センターに提出し、6月8日までにIELTSを受験し、6月21日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者		
審査	書類審査 面接試験 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料負担に関しては一部助成あり。助成金が全額支給された場合、派遣先大学への授業料負担はない。
履修内容	派遣学生の英語力に応じた右記のプログラムを履修：大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）、英語研修。 留学開始時のIELTSが4.5～5.0の場合は英語研修から履修を開始。IELTSが5.5～6.0の場合は大学準備コースから履修を開始。IELTSが6.5以上の場合は大学学部での授業が履修可能。英語力に応じたプログラムに在籍する。英語研修（中級・上級）、大学準備コース（2レベル）、大学学部の順序に修了。履修期間中に、上位プログラムへの進学要件となる英語力を取得した場合は、適合する上位プログラムへの進級が認められる。3学期目（夏学期5月から8月）に対象となるプログラムが継続開講している場合には、留学期間の終了は変動することがある。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、語学プログラムにおいては20単位を上限、大学学部の正課科目においては40単位まで認定される。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。		
生活環境	① 原則としてフレーザーバレー大学指定の周辺学生寮（1か月約6～8万円）が一般的だが大学指定のホームステイ先を選択することも可能。複数の学生寮があり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともある。個室（主な設備：ベッド、寝具、机、椅子、クローゼット等の生活備品一式、シャワールーム、共同キッチン、Wi-Fi）。 ② 食事：自炊。キャンパス内のカフェテリアも利用可能。		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。カナダドル110円で試算、12か月滞在の場合） 【宿泊費】100万円【航空運賃・ビザ申請料】20万円【現地大学保険・海外旅行保険】15万円【健康診断料】2万円【食費、その他】100万円【学費】0円～65万円【合計】240万円～280万円 ※学費の負担：留学期間中に大学学部レベル（大学学部または大学準備コース）に在籍した場合は、本学より助成金を満額支給するため、派遣先授業料の負担はない。本学からの半額助成が適用された場合、フレーザーバレー大学への授業料負担分（約60万円）がかかる。本学への授業料は別途、納入する。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。		
備考	① 取得したIELTSのOverallのスコア以外にReading, Listening, Writing, Speakingの各スコアにより、派遣開始時期が変更になることがある。 ② 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 ③ 原則、通学手段は主にバスを利用することになるが、現地事情（交通条件、気候等）によりホームステイ先からホストファミリーが車で送迎することもある。		

4 銘伝大学

台湾では最も国際的な私立大学のひとつとして有名で、すべての授業が英語で行われる国際学部への派遣のため、英語圏の留学となります。ただし生活では中国語が主となるため、英語、中国語の両言語を学ぶことも可能な環境です。親日的である台湾は異国ではあるものの、海外に不慣れな日本人には過ごしやすいとされています。

応募資格（応募時）	① 学部1～3年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を、学部において30単位以上を修得する見込みの者 ③ 英語試験IELTS 5.0以上の場合は大学学部での授業（理系等を除く一般的な科目）を履修することができます。出願には必ずIELTSのスコアを提出が必要ですが、IELTS 4.5以下の場合においては、他試験のスコア（英検、TOEFL、TOEIC）によっては留学が可能なおもある。 ※申込期限（6月7日）までにIELTSスコアを提出できない学生は、IELTSスコア以外の全ての出願書類を申込期限日までに国際交流センターに提出し、6月8日までにIELTS試験を受験し、6月21日までにIELTSスコアを提出すること。 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上（あるいは見込）あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者		
審査	書類審査 面接試験 ※日程等詳細は別途案内	待遇	・留学期間中の本学施設費全額免除。 ・先方への授業料は全額免除となるため、派遣先大学への授業料負担はなし。
履修内容	派遣先大学国際学部の正課科目を履修。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、大学学部の正課科目において40単位まで認定される。例外として、語学学習関連、特定の科目（理系、アート、音楽等）は、認定されないことがある。※各プログラムにおける単位認定の詳細については、別途、国際交流センターに確認すること。		
生活環境	原則として派遣先大学が指定する宿舎または学生寮。滞在先は複数あり、それぞれ仕様、設備、広さに応じて料金が異なる。希望通りの宿舎にならないこともあり。個室の場合は月に4万円程度、2人1部屋だとその半額程度、4人1部屋だとさらにその半額となり、生活費用はほかの海外諸外国と比較して大幅に低く抑えられる。		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。台湾元4円で試算） 【宿泊費】48万円【航空運賃・ビザ申請料】12万円【現地大学保険・海外旅行保険】10万円【健康診断料】2万円【食費、その他】50万円【学費】0円【合計】122万円 ※学費の負担：派遣先授業料の負担はない。※派遣留学生には別途、4万円の奨学金が支給される。		
備考	派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。		

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	原則として1名以内	URL	www.ufv.ca

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	原則として1名以内	URL	www.ufv.ca

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	原則として1名以内	URL	www.mcu.edu.tw

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	原則として1名以内	URL	www.mcu.edu.tw

5 成均館大学校

1398年に創設された成均館を母体とし、約600年の歴史を有する韓国有数の大学です。人文・社会学系のソウルキャンパスと自然科学系のスウォンキャンパスの2つがあります。また、韓国語学習者のための成均語学院があります。

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	2名以内	URL	www.skku.edu

応募資格（応募時）	① 文学部1～4年次生、国際政治経済学部1～4年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1,2年次生（履修内容が韓国語専攻に相応すること） ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ ハングル能力検定3級以上、または韓国語能力検定3級（中級）以上 ④ 履修科目全体のGPA 2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者		
審査	書類審査 面接試験 ※6月中に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除
履修内容	① 留学生向けのプログラム（成均語学院）：現地でプレイスメント試験（クラス分けのための試験）を受け、その結果に応じて、所属のクラスが指定される。修得した単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。なお、プログラムを受講するには、渡韓前に申し込みを行う必要がある。 ※単位認定の詳細については32～33ページ参照 ② 正課科目：原則として、学部・語学レベルに関らず開講されているすべての科目を履修することができる。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位（①の20単位含む）まで認定される。※単位認定の詳細については38ページ参照		
生活環境	① 滞在先：成均館大学校留学生寮（1か月約4.5万円）2人～8人部屋（設備：シャワールーム、ベッド、机、椅子、クローゼット、電気スタンド、寝具等） ※学期間の長期休業中は、一時退寮し、各個人で手配した他の滞在先に移動する必要がある。 ② 食事：昼食は、キャンパス内の食堂、または学生街の食堂が便利（1食500円前後）。また、学生寮には共同のキッチンがある。		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等（為替の変動により概算となる。韓国ウォン0.1円で試算） 【宿泊費】約50万円【航空運賃・ビザ申請料】約10万円【海外旅行保険】約15万円【健康診断料】約2万円【食費、その他】約60万円【1年間合計】約140万円 ※派遣留学生には、別途月額4万円の奨学金が支給される。		
備考	① 応募予定の学生は、出願前に必ずハングル能力または韓国語能力検定を受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。		

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	2名以内	URL	www.skku.edu

申込締切	2024年6月7日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	2名以内	URL	www.skku.edu

申込締切	2024年10月11日（金）※応募書類は22ページ参照 場所：国際交流センター（5号館5階）		
募集人数	2名以内	URL	www.pku.edu.cn

7 中国文化大学

台湾最大の総合大学です。陽明山の腹に広大なキャンパスを構えるほか、台北市内にもサテライト教室を設け、社会人向けの授業も行なっています。キャンパス内の華岡博物館は、台湾一の大学博物館で、5万点の収蔵品を誇ります。

2025年9月～2026年8月

台湾

申込締切	2024年10月11日(金) ※応募書類は22ページ参照 場所:国際交流センター(5号館5階)		
募集人数	2名以内	URL	www.pccu.edu.tw/

応募資格 (応募時)	<ul style="list-style-type: none"> ① 文学部1～3年次生(1年次生は別途要件あり)、国際政治経済学部1～3年次生、大学院研究科博士前期課程1年次生、修士課程1年次生、博士後期課程1、2年次生 ② 出発時において1年以上在籍しており、授業科目を学部においては30単位以上、博士前期課程並びに修士課程においては16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上を修得する見込みの者 ③ 中国語検定3級以上、またはHSK5級180点以上 ④ 履修科目全体のGPA2.5以上あることが望ましい ⑤ 本学が定める留学保険に加入することに同意できる者 		
審査	書類審査 面接問 ※11月中旬に実施	待遇	本学施設費および協定校の授業料免除
履修内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 留学生向けのプログラム:現地で行なわれるプレシメント試験(クラス分けのための試験)を受ける必要がある。その結果に応じて、所属のクラスが指定される。単位については、本学で履修内容を審査のうえ、20単位を上限に認定される。※単位認定の詳細については32～33ページ参照 ② 正課科目:現地で所定の手続きを行なう必要がある。修得した単位は帰国後本学で審査のうえ、40単位(①の20単位含む)まで認定される。※単位認定の詳細については38ページ参照 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ① 滞在先:中国文化大学キャンパス内留学生宿舍(宿舍費免除)【復具代】約7,000円 ※入居時に別途預り金約7,000円が必要 男子寮(2～3人で1ルーム) 女子寮(4～6人で1ルーム) 設備:ペット、机、椅子、書架、タンス、電気スタンド等(男子寮のみエアコン付) ② 食事:中国文化大学キャンパス内の学生食堂が便利(1食300円～500円程度)。 		
留学費用目安	派遣留学生の費用支出の内訳等(為替の変動により概算となる。台湾元4円で試算) 【航空運賃・ビザ申請料】約15万円 【海外旅行保険】約15万円 【健康診断料】約2万円 【食費、その他】約60万円 【1年間合計】約95万円 ※派遣留学生には、別途月額3万円の奨学金が支給される。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ① 応募予定の学生は、出願前に必ず中国語検定またはHSKを受験し、証明書を入手しておくこと。 ② 派遣先と同じ国籍を有する場合、派遣留学が許可されないため、国籍については出願の前に確認すること。 ③ 派遣先大学の受け入れ状況や条件変更等により、派遣開始時期や学費の変更、派遣の中止等が生じることがある。 		

8 周口師範学院

中国中央部にある河南省に位置し、1973年に開校後、周口教育学院と統合して現在の周口師範学院となった。教員を養成する総合大学で、日本語を含む外国語学部を有している。周口市は老子生誕の地でもある。本学でも同大学からの留学生を受け入れている。

その他の言語圏(フランス語)への学部レベルの派遣留学について

協定校(ボルドー・モンテーニュ大学またはリール大学)に、9月頃から1年間の派遣留学が可能です。語学要件として、学部レベルの授業を履修するにはフランス語能力試験 DELF において B2 以上のスコアが必要です。学部レベルでの派遣留学は学費免除となります。語学要件が足りない場合はそれぞれの大学の付属語学学校に通学します。付属語学学校の授業料は派遣留学生の負担となる場合があります。フランス語圏への派遣留学に興味のある学生は、国際交流センターまでお問い合わせください。

ボルドー・モンテーニュ大学

日本語学科もある総合大学で、キャンパスはフランス南西部にある世界的なワインの産地として知られるボルドーにある。首都パリから高速鉄道 TGV で 2 時間ほどの距離。

リール大学

フランス北部のベルギーとの国境にほど近い街、リールにある 1854 年に設置された歴史ある大学。所属学生数は 18,000 名程度。外国語学部には日本語学科も設けられており、日本語を学んでいる現地学生も在籍している。

大学院

※申し込みは、留学する前年の7月末まで国際交流センターにお問い合わせください。

	中国の東部、上海に接する浙江省の省都杭州にある総合大学。1911年に創立されて以来、現在は9学部を持つ。本学にも同大学からの留学生を受け入れている。
	フランス南西部にある総合大学。言語教育に力を入れており、日本語学科を有する。
	フランス北部に位置する国内有数の大都市リールの郊外にある。人文・芸術・行政・社会科学を専門とする国立大学である。
	イタリアのヴェネツィアにある国立大学。ドルソドゥーロ地区にあるカ・フォスカリをキャンパスとして使用している。多数のインターナショナル・プログラムを含んだイタリア語と英語によるコースを提供している。
	ハンガリーの首都、ブダペストに位置する約380年の歴史を持つ公立大学で、同国で最も歴史が古く大規模な大学である。過去に5人のノーベル賞受賞者を輩出しており、教育水準の高さを誇っている。

留学・語学教育タイプ分け診断

この表を使って自分に向いている留学プログラム等を見つけよう。下記の項目に対応した留学先等を一覧にしてあります。留学計画の参考にどうぞ。参加者・主催者・関係者の意見を参考にした目安となり、個人差があることを理解の上、活用してください。内容や留学に関する専門的な相談は、国際交流センターまでお問い合わせください。

下記プログラムは実施見込みのものが含まれていますので、詳細は国際交流センターにご確認ください。

あなたはどのタイプかニヤーン?	留学																		学内実施の講座等	
	英語圏						中国語圏						韓国語圏		フランス語圏		各種講座や研修等			
	ケンブリッジ大学 ホートンカレッジ	ハッキンガム大学	カンフランシスコ州立大学	フレージャーラー大学	ササンクロス大学	銘伝大学※1	北京大学	浙江工商大学	中国文化大学	成均館大学校	高麗大学校・建國大学校	ボルドー・モンテーニュ大学	リール大学	外国語圏外講座	外国語圏外講座 (TOEIC、IELTS、HSK等)					
短期	長期	短期	長期	短期	長期	短期	長期	長期	短期	長期	長期	短期	長期	長期						
海外に慣れていない	●		●	●	●	●					●	▲				●	●			
長期休暇を利用して語学力を伸ばしたい	●		●	●	●	●					●	●				●	●			
自然に囲まれて語学を勉強したい			▲	●	●	●														
費用は50万円以下に抑えたい※2											●	●				●	●			
いろいろな国の学生と交流したい	●	●	▲	▲	●	▲	●	▲	●	●	●	●	●	▲	●	●				
現地ならではの生活を体験してみたい	●		●	●	●	●	●	▲						●	∞	∞				
外国語試験で高得点を取りたい	▲	●			●	●		●	●				●	●			▲	●		
その国の文化を深く理解したい		●		●	●	●		●	●				●	●						
人生観を変えたい	∞	●	∞	∞	●	●		●	●	∞			●	●		●	●			
家族同様の知人・友人をつくりたい		∞		▲	●		▲	▲				▲		●	∞	∞				
寒いところでは生活できない	●			●	●	●	●	●	▲	●	▲	●			▲	▲		●		
日本の猛暑から逃避したい	●	●			●					▲					▲	▲				
世界のリーダーになりたい	▲	∞								●										
優秀な人に囲まれて自己啓発したい	●	●			▲	▲			●	▲					▲					
隠れた自分の才能を見つけたい		∞			∞	∞		∞	∞				∞	∞		∞	∞			
深い歴史や伝統ある文化に触れたい	●	●	▲						▲	●	●	▲	▲	▲	▲	●	●			
ショッピングや観光にも興味がある	●	●	●	●	▲	●			▲	●	●	●	●	▲	●	●	●			
多少の逆境こそ、よい鍛錬だと思う	●	●			▲	▲			▲	▲					▲	▲	▲			
孤独は耐えられない	●	▲	●	●	▲	●	▲	▲	▲	▲	●			●			●	●		
日本人が少ないところに行きたい	▲	●	▲		▲				▲	●		●		▲		●	●			
勉強もしたいけど、いろいろな体験もしたい	▲	●	●	●	▲	●	●	▲	●	●	●	▲	●	●	●	●	●			
専門分野を深く学びたい	▲	∞			∞	∞		∞	∞	●		∞	∞	∞		∞	∞			
生活のなかでアートや建築を感じていたい	●	●	●							▲						●	●			
おいしい食事を楽しみたい	▲								∞	●	▲		∞	●	●	●	●			
小さな静かな街に行ってみよう	●	●	●		●	●	●	●							●	●				
にぎやかで都会的な街が好き	▲	●	●	●	▲		▲			●	●		●	●	●	▲	▲			
自分の将来の価値を高めたい	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
留学には興味ないが、語学は学びたい																		●	●	
語学は全くできないが、留学したい																		●		
複数の言語や文化を同時に学びたい									●							●	●			
勉強は苦手だけど留学したい	●		●	●		●		●		●	●			●						

※1 授業は英語で受講します。 ※2 費用はレートによって変動します。

● とも向いている ▲ やや向いている、または可能性がある
 無印 あまり向いていない、または対象外 ∞ 個人差があり、運や縁の要素もあり、とも向いていることもあれば、まったく対象外になることもある

留学・異文化交流・外国語の学びを

二松学舎大学の国際交流センターでは、「留学」「異文化交流」「外国語」に関する業務を行っています。悩みや疑問にお答えします。気軽に国際交流センターにお立ち寄りください。

サポートする国際交流センター

場所：九段キャンパス5号館5階 窓口受付：月曜日～金曜日 9:00～16:30
連絡先：03-3261-5751 E-mail: icenter1@nishogakusha-u.ac.jp



▲国際交流センター紹介動画

留学生バディ制度

に参加

二松学舎大学での勉強や日本での生活について外国人留学生が困ったり悩んだりしているときに相談にのり、日本での学生生活を楽しく過ごせるよう、バディ（友人）としてサポートを行います。入学したばかりの外国人留学生がスムーズに日本での生活になじめるよう、手助けをしてあげるのがバディです。本学の日本人学生を対象に公募しますので、興味のある学生は国際交流センターにお問い合わせください。



留学生バディの声（宇野 裕紀 さん 国際政治経済学部）

Q. 外国人留学生と異文化交流をする魅力を教えてください。

あらゆる考え方を知ることができたり、留学生の皆さんそれぞれの出身地について深く知ることができたりすることです。それによって、異なる価値観に対する寛容性が増した実感があります。また、相手が日本に興味をもって来て、日本語を学んでくれていることが、日本人として非常にうれしいです。

Q. 留学生バディとして活動してみて成長した点、発見したものがあれば教えてください。

日本人としての代表者意識をもてたことが、成長点のひとつです。日本人は約1億2500万人いますが、留学生一人ひとりにとっては、来日して初めての日本人の友だちが私たちです。私たちによって日本の第一印象が決まると言っても過言ではありません。この感覚をもてたことが大きな成長です。

イングリッシュ・カフェ

を試みた。

外国語課外講座（イングリッシュ・カフェ）では、英語が母語のネイティブスピーカーの講師と英会話をすることができます。昼休みの時間などの空き時間に開催しています。トラベル英会話、ショッピング、自己紹介、時事など様々な話題で英会話を楽しむことができます。他の言語についても実施を計画しています。



キャンパスで外国人と英会話を楽しもう！

留学生バディ交流会 参加者の声（留学生）

初めて皆さんに会ったときは、緊張しました。でも少し話すと、すぐに友だちになることができました。日本に来て1年が過ぎましたが、交流会で江戸東京たてもの園に初めて行きました。「日本らしい」建物はとてもおもしろかったです。日本人のバディの説明は理解しやすく、日本の古い建物だけではなく、日本の文化、歴史などの知識も深まりました。そのあとは、グループに分かれてレストランに行き、おいしいご飯を食べたり、おしゃべりしたり、とても楽しかったです。もし今後このような活動があれば、また参加したいです！

国際交流センターを 活用しよう

✓ 留学カウンセラーによる留学相談を実施

自分に合った留学スタイル、目的に応じた留学先・期間・プログラムなど、どのようなことでも個別相談することが可能です。海外での危機管理のアドバイスなども行っています。（事前予約可）



【相談者の声】
派遣留学制度に提出する留学計画書を書く際のアドバイスなどの確に教えてくださりとても助かりました。わからないことを聞いてもすべて答えてくださり大変安心感がありました。相談をしてよかったです。

✓ 留学費用の助成や奨学金制度が充実！

- ・長期留学（派遣留学）に行く派遣留学生は留学期間中に全員奨学金がもらえます。金額：月3～4万円（最長12か月間）
※詳細は20ページを参照
- ・短期留学（短期海外語学研修）の渡航型の研修費用を大学が一部助成します。

留学生大学の学費は原則免除！短期語学研修費用も助成してくれる！
長期留学に行く学生全員が奨学金をもらえるなんてすごいニャー！



✓ 外部の講師による外国語レッスンを定期的に実施

外国語での会話の実践の機会提供として、外国語（英語・中国語・韓国語）のレッスンを定期的に開催しています。外国語課外講座に参加したのち、その国の言語や文化に興味を持ち、本学の短期海外語学研修に参加する学生も多数います。（正式講座名：外国語課外講座／協賛型研修）



✓ 語学検定試験の対策講座を定期的実施

IELTS、TOEIC、中国語検定試験、HSKなど主要な語学検定試験の対策講座を外部の講師を招いて実施しています。長期留学プログラムに応募する際の対象試験のスコアアップ、就職活動の際の自己アピールなど、検定試験で高得点を目指すための講座です。（正式講座名：外国語試験対策課外講座）

さらに！
各種語学検定試験の受験料を助成する制度を実施しています。
※詳細は30ページを参照



代表的な語学力テスト・外国語課外講座・ 外国語試験対策課外講座

二松学舎大学の交換留学プログラムを利用する場合も含め、海外の大学に留学するには、語学力テストのスコアを提出し、語学力についての条件をクリアする必要があります。

テストの名称	概要	試験日程	受験（検定）料	派遣スコア基準	受験料助成*	助成金額
★ IELTS™ (アイエルツ)	International English Language Testing System (IELTS™) は、海外留学のために英語力を証明する試験。IELTS アカデミックと IELTS ジェネラル・トレーニングがあります。4 技能（リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング）から成り、1 から 9（最高）までの 0.5 刻みで採点されます。	毎週	25,380 ～ 29,400 円	英語研修レベル： 4.5 以上 大学学部レベル： 5.0 以上	あり	2 万円
TOEFL iBT® (トフルアイビーティー)	TOEFL テストは、英国、米国、オーストラリア、カナダを含め、150 か国 10,000 以上の大学や機関に認められています。各セクション 30 点満点で、トータル 120 点満点で採点されます。	月 3 ～ 6 回 (年間 45 回以上)	US\$245	-	-	-
TOEIC® (トエイック)	Test of English for International Communication (TOEIC®) は、日常生活やビジネスシーンにおける英語によるコミュニケーション能力を幅広く測定するテストです。キャリアアップ、就職活動など、さまざまな場面で役立ちます。リスニングセクションとリーディングセクションが各 495 点満点で、トータル 990 点満点のテストです。	年間 10 回	7,810 円	-	あり	5,000 円
英検 (実用英語技能検定)	英検は日本人になじみ深いテストで、小学生から社会人まで幅広い人が対象の英語検定試験です。5 級から 1 級（上級）まであり、3 級以上は口頭試験があります。	年 3 回	3,900 ～ 11,800 円 (級により異なる)	-	-	-
★ HSK (エイチエスケ)	HSK は、中国政府教育部が公認する資格です。「筆記」と「口試（口頭試験）」の 2 種類があり、筆記は 1 級から 6 級（上級）、口試は初級・中級・高級があります。	年 12 回 (ほぼ毎月実施)	3,850 ～ 11,550 円 (級により異なる)	5 級 (180 点) 以上	あり	5,000 円 (3 ～ 6 級) ※ 1 ～ 2 級は助成なし
★中国語検定試験	中国語検定試験は、日本国内において中国語の学習成果を測る指標として最も多く利用されている資格試験です。準 4 級から 1 級（上級）まであり、準 1 級以上は口頭試験があります。	年 3 回 (3、6、11 月の 第 4 日曜日)	3,500 ～ 11,800 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (3 ～ 1 級) ※ 準 4 ～ 4 級は助成なし
★ハングル能力 検定試験	日本で初めての韓国・朝鮮語検定試験として、1993 年から実施されています。日本人がハングルを習得し、日本語での自然な対訳までを出題範囲とする点が特徴です。5 級から 1 級（上級）まであり、1 級は口頭試験があります。	年 2 回 (6、11 月)	3,700 ～ 10,000 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (3 ～ 1 級) ※ 5 ～ 4 級は助成なし
★韓国語能力試験 (TOPIK)	大韓民国政府（教育省）が認定・実施する韓国語（ハングル）試験です。TOPIK I（1 ～ 2 級）と TOPIK II（3 ～ 6 級）があり、点数によって級が決まります。	年 6 回 (日本で受験できる のは 3 回)	5,000 ～ 7,000 円 (級により異なる)	3 級以上	あり	5,000 円 (TOPIK II) ※ TOPIK I は助成なし
★ DELF/DALF (デルフ/ダルフ)	フランス国民教育省が認定する唯一の公式フランス語資格です。フランス語圏の大学へ留学する際の基準となっています。A1 ～ B2 (DELF、初・中級) と C2 ～ C1 (DALF、上級) に分かれています。	年 2 回 (6、11 月)	10,000 ～ 30,000 円 (レベルにより異なる)	B2 以上		
実用フランス語 技能検定試験	文部科学省および在日フランス大使館文化部の後援で実施されているフランス語の技能検定試験です。5 級から 1 級（上級）まであり、準 2 級から口頭試験があります。	年 2 回 (6、11 月)	5,000 ～ 14,500 円 (級により異なる)	-		
実用イタリア語 検定試験	「読み・書き・聴き・話し」能力の向上につながり、毎年春と秋に実施しています。5 級から 1 級（上級）まであり、2 級以上は口頭試験があります。春季検定では 5 級から準 2 級、秋季検定ではすべての級が実施されます。	年 2 回 (3、10 月)	5,220 ～ 15,000 円 (級により異なる)	-		



★本学の交換留学プログラムに応募する際の対象試験です。
※詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。

外国語課外講座・外国語試験対策課外講座の受講者の声

<p>受講者の声</p>	<p>外国語課外講座 英語</p> <p>文法や語彙には自信はなかったのですが、知っている単語だけでも声に出せば意外と通じるのだということがわかり、英語学習への意欲と自信になりました。</p>	<p>受講者の声</p>	<p>外国語試験対策課外講座 HSK</p> <p>HSK のテストがどのようなものか理解できました。中国語が苦手な私でも非常にわかりやすい解説でした。特に、発音の練習が出来てよかったです。</p>
<p>受講者の声</p>	<p>外国語課外講座 韓国語</p> <p>ハングルの歴史から基礎的な構造を知りました。韓国の事情、韓国コスメ、K-POP の話も聞けて、興味をもって参加できました。韓国人の方とお話しできて楽しかったです。</p>	<p>受講者の声</p>	<p>外国語試験対策課外講座 IELTS</p> <p>ネイティブの先生から生きた英語を学ぶことで、日本語に訳さず英語のまま内容を理解し考えられる習慣が身につきました。また、失敗を恐れず、積極的に発言できました。</p>



海外留学における 危機管理と注意点について

自分の身は自分で守ろう！

日本国内の高い安全基準とは異なる海外においては、予期しない事件や災害だけでなく、軍事行動に巻き込まれることもあります。このような状況下では、自己責任においてとっさの判断が求められることが少なくありません。海外での安全確保においては、外務省が提唱する「自分の身は自分で守る」という危機管理の意識を常にもつことが大切です。戦争、テロ、自然災害、感染症といった重大な事故や事件は本人の注意には関係なく起こりえます。また、日常生活においてよくあるトラブルとして、スリ、盗難、体調不良、メンタルヘルスなどは本人の注意や事前の対策で回避できることもあります。充実した留学を終えるためにも、留学中は常に危機管理の意識を持って生活してください。

【外務省発表の危険情報と留学の実施判断について】

本学では、外務省の海外危険情報のレベルに合わせて、短期海外語学研修および派遣留学の実施・継続の可否等を判断しています。レベル 2（不要不急の渡航は止めてください）以上の危険情報が発出されている国や地域での短期海外語学研修および派遣留学は中止となることがあります。ただし、派遣留学においては、渡航時期の変更・延期や渡航先の変更等を認めようとして実施することがあります。渡航前には外務省の海外旅行登録システム「たびレジ」または「在留届」の登録をすませておきましょう。

国際交流センターでは、海外危機管理セミナーを実施しています。また、専門知識を持つ留学カウンセラーや海外事情に精通した職員もおりますので、事前にご相談ください。

留学に役立つ学外の情報提供機関	
〈アメリカ〉 EducationUSA	URL https://americancenterjapan.com/study/
〈英国〉 プリティッシュ・カウンシル	URL https://www.britishcouncil.jp/studyuk
〈オーストラリア〉 オーストラリア留学情報政府公式ウェブサイト	URL https://www.studyaustralia.gov.au/ja
〈カナダ〉 カナダ大使館	URL https://www.canadainternational.gc.ca/japan-japan/
〈ニュージーランド〉 EducationNewZealand	URL https://www.studywithnewzealand.govt.nz/ja
〈中国〉 中華人民共和国駐日本国大使館	URL http://jp.china-embassy.gov.cn/jpn/
〈韓国〉 StudyinKorea (NIIED)	URL https://www.studyinkorea.go.kr
〈台湾〉 台北駐日経済文化代表処	URL https://www.taiwanembassy.org/jp/
外務省海外安全ホームページ	URL https://www.anzen.mofa.go.jp/
海外安全情報配信サービス「たびレジ」/在留届電子届出システム「オンライン在留届」(外務省)	URL https://www.ezairyu.mofa.go.jp/
世界の医療事情 (外務省)	URL https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/
独立行政法人日本学生支援機構	URL https://www.jasso.go.jp/
文部科学省トビタテ！留学 JAPAN	URL https://www.tobitate.mext.go.jp/

先輩 VOICE

中国で現金やクレジットカードが使えなかったことです。QRコード決済が当たり前で、キャッシュレスが広く普及していて驚きました。現金を取り扱っていても店員にイヤな顔をされることがあるので、出発前に必ず QRコード決済アプリを登録して使えるようにしておくことです。

財布をなくしてしまいました…。気づいたときはパニック状態。とりあえずクレジットカードを止めて警察に相談しましたが結局財布は戻ってこず。当時はすごいショックでしたが、今は「こんな経験なかなかできないな」とポジティブに考えています。絶対に油断は禁物です。いつどこで何が起こるかわからないので、気を抜かず行動するようにしてください。

留学中に大変だったコト

語学の面では発音がまだまだ不十分で相手に伝わらないことが何度もありました。また、日本語を話せる現地学生が多く、その子たちに甘えてしまっている自分がありました。語学力を伸ばしたいという目標があるのなら、最初は伝わらなくても諦めず、自分を厳しくコントロールしなければいけないと思います。

下調べはしていましたが、気候面や食事面など、実際に現地に行かないとわからないことも多かったです。事前準備よりも、想定外なことに遭遇したときに受け入れる柔軟性が必要です。

よくある質問

学生や保護者の方からよく受ける質問をまとめました。
ここにない質問があったら、気軽に国際交流センターへお問い合わせください。

留学前の準備・留学中について

Q 留学したいのですが、
何から始めたらいいかわかりません。

本冊子『留学の手引き』の「留学までのステップ」(14ページ)にある「計画の立案」を参考にしてください。留学までのステップが分かりやすく解説してあります。また、国際交流センターには留学カウンセラーの資格を持つスタッフがおりますので、ご相談ください。



Q 留学先の言語がまったくできなくても、
留学できますか？

短期海外語学研修は、語学力の向上を目的としているため、原則、外国語の初級者でも参加可能です。ただし、ケンブリッジ大学(英国)での研修参加には、外国語力要件(英語力 IELTS 4.0以上程度)があります。長期の派遣留学には、応募資格に外国語力要件(派遣校によって要件の内容は異なる)を満たした学生のみが申請可能です。

Q 同じ言語圏で派遣先大学を
併願することはできますか？

できます。応募の際は、第一希望をうかがっています。しかし、学内選考の結果や派遣先の国への渡航制限により、第一希望以外の国や大学に派遣される可能性もあります。

Q 短期海外語学研修の申し込みの締め切りが早いので、参加が
決めにくいです。締め切り後でも受け付けてもらえますか？

締め切り後の申し込みは、受け付けません。短期海外語学研修の締め切りはおおよそ6か月前となります。派遣先大学の研修の締め切り間に合うように設定されています。研修の参加は長期的な視野で計画してください。

Q 複数の研修先があるのですが、どれがおすすですか？

留学の目的は、人それぞれ異なりますが、自身の留学の目的に合った留学先がおすすです。短期海外語学研修は、海外に慣れていなく安心して異文化交流をしたい学生に適しています。長期の派遣留学は、高い語学力を習得し、現地の学生とともにしっかりと学びたい学生に適しています。本学の短期海外語学研修は、安全面と提供される教育の質はもちろんですが、個性的かつその国の良い季節に実施し、その国らしさを理解できるように提供しています。また、単位の認定など学生にとって有意義な研修プログラムになっていますので、在籍中に複数の研修プログラムへの参加も検討してみてください。

Q 現在、大学3年生または4年生ですが、
留学に行けますか？

3年生の場合、短期海外語学研修への参加は可能です。ただし単位の認定科目区分は総合教養科目のみとなりますので、すでに総合教養科目の単位が十分にある場合、卒業に必要な単位にならないことがあります。長期の派遣留学への出願は可能ですが、留学を開始するのが4年生になるため、4年生の9月に留学を開始した場合は、卒業までに5年以上かかることもあります。4年生の場合も短期海外語学研修への参加は可能です。ただし、春期(2月ごろ)の研修は年度末の実施となるため、単位の認定はありません。長期の派遣留学は、一部の派遣先大学によっては4年生でも出願が可能です。この場合は5年目で留学することとなり、卒業までに6年かかることもあるので慎重な計画が必要になります。

Q 日本国籍ではないのですが、
海外留学は可能でしょうか。

留学先の国と大学によっては一部可能なことがあります。なお、短期海外語学研修への参加については、母国となる国への研修には参加できません。また、長期の派遣留学については、派遣先大学から国籍についての条件が定められていることがあります。派遣先の国によっては、国籍により派遣不可の場合や、査証(留学)を別途取得するなど様々な制約が発生することもあるため、事前に国際交流センターにご相談ください。

Q どのくらいお金を持って行ったほうがいいですか？

短期海外語学研修では、現地での宿泊費用が含まれているため、日常生活に関してはお小遣い程度で十分です。個人のライフスタイルや価値観により異なりますが、国内の地方都市に3~4週間の旅行をする程度のお金を準備しておけばよいでしょう。物価は英語圏が高く、そのほかの国は東京の物価と比較して、気になるほどの違いはありません。研修には学外活動(観光等)も含まれているため、高額な消費の機会はありません。長期の派遣留学では、東京での一般的な生活と同等の経済観で良いでしょう。生活費として1か月10万円程度(寮費や居住費は除く)を基準にして、物価の高い国であれば2~3割増し程度でよいでしょう。ただ、為替の急騰等によっては半分にも2倍になることもあるので、為替の変動には常に意識を持つことが大切です。基本的に現金で保持することは避け、海外で使用できるクレジットカード、海外デビットカードを併用することをおすすします。また、中国での研修先における支払いに関しては、現金やカード支払いを受け付けておらず、スマートフォンでの電子決済のみということがあり、現地へはスマートフォンを持っていく必要があります。また、現地で使用できる電子決済方法(アプリ等の登録)を確認しておく必要があります。また、スマートフォンの故障、不具合、バッテリー切れになると一切支払いができないなど致命的なトラブルもあるので注意が必要です。

Q 留学前にしておいたほうがいいことはありますか？

留学計画の立案を明確にしておき、自分に合う留学先を検討しておくことをおすすします。具体的には、目標、将来像、留学後の計画、留学の目的、留学で得たいもの、興味のある国や地域、いつ留学したいのか、資金計画などを明確にしておきましょう。「留学までのステップ」(14ページ)にある計画の立案の項目を参照してください。

Q 留学に興味があります。
先輩や体験者の話を聞くことはできますか？

できます。国際交流センターにお問い合わせください。また、本学サイト内の国際交流センターの紹介動画および本冊子、『留学の手引き』にも体験者の声が出ていますので、参考にしてください。

Q 英語と中国語を勉強しています。
両方の交換留学に応募できますか？

同時に異なる言語圏の大学に応募することはできません。なお、台湾の銘伝大学では、英語で授業を履修しますので、英語での学修と中国語での生活となる多様性のある留学が可能となります。

Q 留学すると、外国語が話せるようになりますか？

個人の資質や力によるところが多いですが、長期の派遣留学では海外で過ごす時間や話す機会が大変多く、高いレベルでの言語能力が問われるため、コミュニケーションの力がつくと想定されます。派遣留学では、特に現地で正規科目を現地の学生とともに履修することが見込まれるため、学術的に高度な外国語を話す機会があります。短期海外語学研修では、短期間であることから、長期派遣留学と比較すると外国語能力向上の効果は低くなりますが、外国語を話す機会は国内よりも飛躍的に増えるため、人によっては大きく向上することが見込まれます。

Q 留学中、国際交流センターは何かサポートを
してくれますか？

はい。留学中のトラブルや心配事など、何でもご相談ください。学生の立場に立ってサポートします。また、留学の際に加入する海外旅行保険には、24時間365日、日本語で相談できるサービスがついています。

Q 外国語が上達するための
効果的なおすすめの学習方法を教えてください。

語学力の向上には、続けていくだけのモチベーション、環境、時間、お金などいくつかの要素が必要であるといわれています。手軽に英語を学びたいならLiveCampusにあるオンラインの無料英語自習システムはとても便利なおすすです。国際交流センターで実施している各種外国語課外講座(英語、中国語)に参加、学内の外国人留学生との異文化交流会への参加もそれほどお金や時間はかかりません。少し費用はかかりますが、短期海外語学研修への参加は外国語の習得や実践に効果があります。高い能力を目指すなら長期の派遣留学に挑戦する方法もあります。語学の習得に関しては、一日でも早いうちに始めることをおすすします。国際交流センターでは、英語、中国語、韓国語試験への対策講座を行っています。また、外国語試験の問題集や参考書をセンターにて閲覧や貸出が可能です。

Q 留学中は寮・ホームステイ先以外で、自由に住まいを
探してもよいですか？

できません。危機管理の観点および異文化交流の機会から、本学の制度を利用した留学においては、必ず本学または派遣先大学の定める宿泊先に居住することになります。短期海外語学研修においては、原則あらかじめ決められたホームステイまたは寮での生活となります。長期の派遣留学においては、派遣先の指定する複数の寮から、予算やライフスタイルに合致した宿泊先を選定することが一般的です。現地の交通事情等からカナダ、オーストラリアでの派遣留学においては、適切な宿泊形式としてホームステイとなることも多く、ホストファミリーが車で送迎することもあります。現地で友人とアパートメントを賃貸して、ルームシェアという形式も海外では一般的な選択のひとつですが、前述の危機管理体制の観点から本学では禁止しています。

Q 留学中にアルバイトやインターンシップ、
車の運転をしてもよいですか？

アルバイトやインターンシップは、海外での貴重な経験にもなるので、本来の学修に影響のない範囲であれば制限はありません。ただし、派遣先の国が定める就労時間の制限や業種・職種選びは十分注意してください。車(自動二輪車を含む)の運転は禁止しています。

Q 留学中の成績が悪かった場合、
途中で帰国させられますか？

はい。留学先大学もしくは本学が、学業不振や出席不良など、派遣留学生として相応しくないと判断した場合は、プログラムの途中で留学を中止し帰国を命ずることがあります。

Q 休学して留学する場合の手続きと注意点を
教えてください。

本学の協定校でない大学などに休学をして私費留学する場合は、九段1号館3階の学生支援課に「休学届」「海外渡航書」を提出し、「休学の手続き」を行います。休学期間中は在籍料(年間10万円)が必要になります。休学期間は、本学の修業年限として計算されませんので、学部生の場合は卒業までに5年以上かかることになります。



Q 留学が中止されることはありますか？

本学では留学生の安全を最優先としている観点から、留学を中止する場合があります。外務省の発表する海外安全情報および感染症危険情報(31ページ)がレベル2以上の国や地域への留学は原則、実施しません。最終的な実施可否は、本学で定めた海外への学生派遣基準により決定します。またすでに海外にて留学中であっても留学先での安全確保の観点から留学中止及び帰国勧告することがあります。



費用について

Q 留学費用はさまざまですが、内容が違うのでしょうか？

短期海外語学研修の費用の大きな違いは、航空券の費用と派遣先国の物価によるものです。その次に、現地での研修内容（学外視察の回数や研修時間数）、宿泊形式の違いによるものです。航空券費用の高い時期に物価の高い国での研修先（夏期における英国やカナダ等）では、おのずと費用が高くなります。各プログラムの詳細は、16ページからご参照ください。

Q 奨学金や助成金はありますか？

あります。詳しくは16ページの「短期海外語学研修プログラム」の「海外語学研修費用の助成について」、また、21ページの「交換留学プログラム」の「派遣留学生（英語圏）助成金制度」をご覧ください。加えて、国際交流センターでは語学検定試験の受験料助成制度もおこなっております。詳細は国際交流センターまでお問い合わせください。

Q とにかくコストをおさえて留学したいのですが、どこがいいですか？

費用の観点では、過去の実績から以下の短期語学研修がコストの低いものになります。概算費用を記載しますので参考にしてください。留学本来の目的に合致した研修先をおすすめします。

【主な渡航型の研修先と費用】

- 浙江工商大学・中国（春期：概算費用 35 万円）
- 高麗大学校・韓国（春期：概算費用 45 万円）
- 建国大学校・韓国（春期：概算費用 35 万円）
- 北京大学・中国（夏期：概算費用 50 万円）
- サザンクロス大学・オーストラリア（春期：概算費用 60 万円）
- そのほかの研修先（ケンブリッジ大学とバッキンガム大学・英国、フレーザーバレー大学・カナダ、サンフランシスコ州立大学・アメリカ）は 100 万円以上となる。

また、留学には助成制度がありますので、上記記載の概算費用から大学が一部費用を負担します。

単位認定・留学制度・審査方法について

Q 留学した場合、卒業の単位に認定されますか？

短期海外語学研修に参加し、規定のプログラムを修了した場合は2科目4単位または1科目2単位が認定されます。認定科目区分は所定の科目、単位認定方法はZ（認定）またはD（不合格）の評価のどちらかになります。また短期海外語学研修に複数回参加することも可能です（詳細は16ページ参照）。長期の派遣留学の場合も、履修内容を審査のうえ、語学プログラムにおいては20単位を上限、大学正課科目においては40単位まで原則として認定されます。留学先で取得した授業科目を、留学期間中の年度に本学で開講している授業科目に読み替えて単位認定審査を帰国後に行います。単位互換の成績はZ（認定）またはD（不合格）で判定されます。

Q 1年間留学しても学部を4年間で卒業できますか？

派遣留学期間は、本学の在籍期間として算入されるので、制度上は4年間で卒業が可能です。単位互換により、留学先で修得した単位を卒業単位に算入することができますので、これらの制度を利用して卒業に必要な要件を満たせば卒業できます。留学先で履修した授業科目と、本学で開講している授業科目が基本的にほぼ同一の授業内容であり、かつ所定の時間数（本学学則第26条）以上であれば、単位互換の申請ができます。よって、留学中に計画通りに単位を修得できなかった、本学の授業科目に読み替えられない科目を履修した場合は、4年間で卒業は難しくなります。

Q 派遣留学の学内の競争倍率を教えてください。

年度、語学圏および派遣先により異なりますが、過去5年間においてはそれほど高倍率ではありません。倍率による理由で出願を取りやめることはせずに、積極的に出願を検討してください。

Q 留学の応募要件を満たしていないのですが、出願できますか？

短期海外語学研修においては、語学要件のあるケンブリッジ大学（英国）の研修を除いては、原則外国語の初級者でも参加可能です。ただし、ケンブリッジ大学においても英語試験を受験していない学生であっても、研修前までに英語力をつけることを条件として、研修の参加を許可することもありますので、まずは気軽にお申し込みください。長期の派遣留学では、応募資格として必要な語学要件およびGPAが定められているため、原則としてその両方の要件を満たした学生のみが申請可能です。しかしながら、派遣先大学によっては、要件の厳格さ等が異なる場合もあるので、要件を満たしていない場合でも国際交流センターに問い合わせしてみる価値はあります。語学要件の場合、留学前までに要件を満たすことを条件として派遣留学を認めることもあります。また、出願時に語学能力試験の結果がない場合でも、試験受験予定日等を提出することで出願できることもありますので、事前に国際交流センターまで確認してください。GPAについては、履修科目全体で2.5以上あることが望ましいです。しかしながら、派遣先大学によっては、要件の厳格さ等が異なる場合もあるので、GPAを満たしていない場合でも出願できることもあります。また、GPAを保持していない1年生が出願した場合、出願年度の春学期の成績を踏まえて留学を認める「条件付き合格」となることもあります。

Q 教職課程を考えていますが、長期の派遣留学に行っても4年間で卒業できますか？

本学および派遣先大学の学年層の関係上、教職課程および派遣留学を修了して4年間で卒業することは時間的な制約から、大変難易度が高いのが現状です。教職課程における履修および実習が国内に限定されるため、留学期間中の履修等を他科目で認定することができないことによるものです。現実的には、4年間を超える計画で、派遣留学と教職課程の修了を計画することになります。詳細は教職課程センターおよび国際交流センターまで確認してください。

Q 在学中に何回まで語学研修に行けますか？

短期海外語学研修に複数参加した場合、他言語、同一言語にかかわらず、最大4回の研修まで単位認定を行います。ただし、同一言語の研修に同一研修先大学での2回目以降の研修参加を希望する場合や前述にない例については、事前に国際交流センターに相談してください。認定科目区分は所定の科目に限定されるため、認定科目区分の上限を超えて履修した単位は、卒業に認定される単位とならないことがありますのでご注意ください。

Q 派遣留学の申請書類はどこにありますか？

LiveCampusの「学内共有ファイル」にあります。「トップメニュー」→「キャンパスライフ」→「学内共有ファイル」カテゴリ：「国際交流センター（申請書）」タイトル：「派遣留学生応募書類様式」

Q 交換留学制度の学内選考基準は何ですか？

学業成績、語学力、面接での評価により総合的に判断いたします。

Q 派遣留学の応募書類の提出や学内審査はどのような流れで行われますか？

応募書類の準備（募集説明会の参加、語学学習等）、応募書類の提出（留学願、留学計画書、語学力証明書等）、審査会、学内合格、協定校への出願準備、渡航準備、出発という流れです。詳しくは「留学までのステップ」（14ページ）をご参照ください。

Q 留学中に修得した単位は、いつ成績に反映されますか？

夏期短期海外語学研修と長期派遣留学は、帰国した年の年度内に、春期短期海外語学研修は、帰国した年の翌年度に反映されます。また、長期派遣留学の単位認定は、40単位が上限です。

Q 派遣留学に行く場合、ゼミナールの履修はどうしたらいいですか？

派遣留学の開始時期によって、2年次または3年次以降のゼミナールを本学で履修できないケースがあるため、本学では派遣留学生の単位認定及び履修上の特例として、派遣先大学での履修内容をゼミナールに認定する制度を設けています。在籍学部により、取り扱いが異なるので、詳細は38～39ページをご参照ください。

その他について

Q 留学は就職活動に有利ですか？

そのように捉える企業が多いです。語学力、行動力、問題解決力、チャレンジ精神など、評価される要素を持ち合わせていると考えられるからです。しかし、留学が必ず就職活動において有利になるわけではありません。



国際交流サポーターへの登録はこちら ▶



留学計画や気になるコトを書き出してみよう

二松学舎大学交換留学に関する規程

(2020年3月21日制定)

第1章 総則

(目的)

第1条 この規程は、二松学舎大学（以下「本学」という。）と海外協定校（本学との交流を書面により約した海外の大学、若しくはそれに準じた教育・研究機関）との学生の交換留学に関して必要な事項を定める。

(名称)

第2条 この規程により本学から海外協定校に派遣する学生を「派遣留学生」といい、海外協定校から本学に受入れる学生を「交換留学生」という。

第2章 派遣

(資格)

第3条 派遣留学生となることのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 学部にて1年以上在籍し、前年度までに30単位以上修得した者
- 大学院にて1年以上在籍し、前年度までに博士前期課程においては、16単位以上、博士後期課程においては、8単位以上修得した者

2 派遣留学生となることの出来る者は、派遣される国で使用される主たる言語について、それぞれ定められた語学水準を満たしていなければならない。

3 前項の語学水準は、海外協定校ごとに設けられる派遣留学生募集要項に定める。

(出願の手続き)

第4条 派遣留学を志望する者は、所定の募集期間中に所定の留学願、留学計画書、及びその他必要な書類を国際交流センターに提出しなければならない。

(選考等)

第5条 派遣留学生の選考は、教授会又は研究科委員会が行う。

2 国際交流委員会は、前条の提出書類及び面接試問等により審査し、派遣留学生候補者を当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会に推薦する。

3 学長は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、留学を許可する。

(留学期間)

第6条 留学期間は、1年以内とする。ただし、本学がやむを得ない事情と認めたときは、申請により1年を限度に延長することができる。

2 前項の留学期間は、本学の修業年限に算入する。ただし、算入できる期間は、1年を限度とする。

(留学の始期及び終期)

第7条 留学の始期は4月1日又は10月1日とし、終期は3月31日又は9月30日とする。

2 前項に定める期日の前後に出国又は帰国した場合でも、前項の期日とする。ただし、帰国後卒業・修了年次に在籍する学生の留学の終期は、日本への帰国日とする。

(留学終了の報告)

第8条 留学を終えて帰国した者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出しなければならない。

- 留学終了届
- 帰国報告書
- 在籍期間証明書
- 成績証明書

(単位認定)

第9条 留学先で修得した授業科目の単位又は履修内容については、本学学則第48条又は本学大学院学則第11条により単位を認定する。

2 単位認定を希望する者は、帰国の日から14日以内に次の書類を提出しなければならない。

- 単位認定申請書
- 履修科目毎の年間授業時間数並びに単位数を証明する書類

3 単位の認定は、学部にあつては、当該学生の所属する学部の教務委員会の審議を経て、教授会が行い、大学院にあつては、当該学生の所属する大学院の研究科委員会が行う。

4 前項により本学の卒業要件又は修了要件を充足した者は、帰国した年度で卒業又は修了することができる。

(授業科目の継続履修)

第10条 通年開講科目については、出国年度の春学期に履修した授業科目を、帰国後帰国年度の秋学期に継続して履修する（以下「継続履修」という。）ことを認める。

2 出国年度に履修した通年の科目が帰国年度に開講されていない場合等継続履修することが困難な場合は、当該学生の所属する学部の教授会又は大学院の研究科委員会がその措置を決定する。

(帰国後の履修手続き)

第11条 派遣留学生は、帰国後指定期日までに、継続履修科目を含め当該年度の履修登録を行わなければならない。

2 学年暦の国際的差異等の事情により、本学所定の期日に履修手続きを行えない場合は、その手続きの時期を延期することができる。

(特定科目の履修上の特例)

第12条 セミナール、卒業論文等特定科目の履修が正規の履修方法によりがたい場合は、学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、履修上の特例を認めることができる。

(特別試験)

第13条 学年暦の国際的差異等により、本学の定期試験を受験できない場合は、授業担当者による特別試験をもって評価を行う。

(学費納入)

第14条 派遣留学生の留学期間中の本学の授業料等納付金は、別に定めるところにより、その一部を免除する。

2 海外協定校への授業料、登録料その他納付金については、原則として免除される。ただし、海外協定校との協議により特段の定めがある場合は、定められた納付金を海外協定校に支払わなければならない。

(学則の遵守等)

第15条 派遣留学生は、留学期間中は海外協定校の学則等諸規程を遵守するとともに、海外協定校が主催する国際交流等の催事に積極的に参加するよう努めなければならない。

2 派遣留学生は、月例報告書を本学に提出しなければならない。

(留学の辞退)

第16条 出発前に留学の事由が消滅したとき、又は特別の事由により留学することが不可能になった場合は、ただちに「留学辞退届」を提出しなければならない。

2 前項の届出に基づき、当該学生の所属する学部の教授会、大学院の研究科委員会の議を経て、学長が留学の許可を取り消す。

(身分の取り消し)

第17条 派遣留学生が留学期間中に次の各号の一に該当するときは、海外協定校と協議の上、派遣留学生の身分を取り消すことがある。

- 留学先における学業成績不良で改善の見込がないとき
- 学生の身分にもとる行為を行ったとき
- 学費納入等定められた義務を怠ったとき
- 病気等により留学の継続が困難であると認められるとき
- 留学取り消しを申し出たとき

(派遣留学の中止)

第18条 派遣留学生の滞在する国・地域に、天災地変、戦乱、暴動、伝染病等が発生し、学生の安全が確保できない恐れのある場合は、学長は留学の中止を決定し、帰国命令等を発令することができる。

2 派遣留学生は、前項の命令が出た場合は、速やかに日本へ帰国しなければならない。

第3章 受入れ

(省略)

第4章 補則

(施行細則)

第33条 この規程の施行についての細則等必要な事項は、別に定める。

(事務の所管)

第34条 海外協定校との学生受入れ、派遣に関する事務は、国際交流センターが主管する。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

この規程は、平成16年4月1日から施行する。ただし、第14条の規定は、平成17年度の派遣留学生から適用し、平成16年度の派遣留学生については、従前の規定による。

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

二松学舎大学派遣留学生奨学金規程

(2004年3月23日制定)

(目的)

第1条 この規程は、本学から海外協定校に派遣する学生（以下「派遣留学生」という。）に対し奨学金を給付して、その勉学を助成し、有為な人材の育成に資することを目的とする。

(対象)

第2条 本奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」に基づき選考され、学長が留学を許可した派遣留学生を対象とする。

(奨学金の額)

第3条 奨学金は、次のとおりとする。

- 派遣留学先で住居費を自己負担する者の奨学金は、月額4万円とする。
- 派遣留学先で住居費の負担のない者の奨学金は、月額3万円とする。

2 前項第1号の奨学金に加えて、派遣先の授業料等学納金を自己負担する者については、当該授業料等相当額を一時金として給付することができる。

(給付の期間)

第4条 奨学金は、派遣留学生が渡航した日付を含む月から、留学を終え日本へ帰国した日付を含む月の間支給し、最長支給期間は12カ月とする。

(奨学金給付願)

第5条 派遣留学生で、奨学金の給付を希望する者は、奨学金給付願を提出しなければならない。

(給付の決定)

第6条 奨学金の給付は、学長の推薦に基づき理事長が決定する。

二松学舎大学派遣留学生（英語圏）への助成制度に関する規程

(2020年11月17日制定)

(目的)

第1条 この規程は、二松学舎大学（以下「本学」という。）が規定する交換留学に関する規程に基づき選考された派遣留学生（以下「派遣留学生」という。）に対して行う、派遣期間中の経費助成に関して必要な事項を定める。

(対象となる海外協定校)

第2条 経費助成の対象となる派遣留学は、相互交流による授業料免除が適用されない英語圏の海外協定校（以下「海外協定校」という。）への派遣留学とする。

(助成の対象人数)

第3条 経費助成の対象となる人数は、派遣先となる海外協定校（以下、「派遣先大学」という。）1校につき毎年度1名とし、全海外協定校の合計数を助成人数の上限とする。

2 選考の段階において、当該年度の派遣留学を行う当該学生がいない海外協定校がある場合は、当該海外協定校についての当該年度分の助成対象人数を、他の派遣先大学への派遣留学に対する助成対象人数に加えることができるものとする。

(助成の期間)

第4条 経費助成を行う期間は、原則として当該派遣留学期間1年以内とする。

(助成の区分)

第5条 派遣留学生の英語能力によって、派遣先大学における履修可能なプログラムが異なるため、次の各号に規定する助成区分を設ける。

(1) 全額助成の派遣留学生
留学期間中に大学正課科目および大学進学準備コース（以下、「大学学部レベル」という。）を履修する者（英語能力の水準が英語能力試験IELTS5.0以上に相当）。

(2) 一部助成の派遣留学生

留学期間中に大学学部レベルのプログラムを履修せず、英語向上を目的とする語学研修コース（以下、「英語研修レベル」という。）を履修する者（英語能力の水準が英語能力試験IELTSのスコア5.0未満に相当）。

(助成の内容)

第6条 前条に規定する助成内容は、次の各号のとおりとする。

- 全額助成の派遣留学生
派遣先大学の年間学費から本学の年間授業料を差し引いた差額の全額
- 一部助成の派遣留学生
派遣先大学の年間学費から本学の年間授業料を差し引いた差額の2分の1の金額

(助成区分の変更)

第7条 第5条2号に該当する派遣留学生（一部助成の派遣留学生）が、より上位の大学学部レベルの履修プログラムに在籍することとなった場合は、助成区分を第5条1号に変更するものとする。

- 前項の変更が生じた場合は、当該派遣留学期間（1年間）において助成区分を第5条1号に変更するものとする。
- その他、助成区分に関する複雑な事情が生じた場合は、別途、助成額等について調整するものとする。

(給付方法)

- 第7条 奨学金の給付は、日本に開設の本人名義の銀行口座に振込むことによって行う。
- 奨学金は、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第15条第2項に規定する「月例報告書」の提出を確認した後、給付する。
- 第3条第2項の「一時金」は、派遣先授業料等の支払いを証明する書類を確認した後、一括給付する。

(給付の取り消し)

- 第8条 奨学生が、派遣留学生の身分を失った場合は、奨学金の給付を打ち切る。
- 身分失効の理由が本人の責に帰す場合は、既に給付した奨学金を、身分失効の理由が発生した期日に溯り返還させることができる。

(実施要領)

第9条 本規程に定めるもののほか、必要に応じて実施要領を定める。

(事務担当)

第10条 本規程に関わる事務は、国際交流センターが担当する。

附則

この規程は、平成16年4月1日から施行し、平成17年度の派遣留学生から適用する。

附則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

(実施要領)

第10条 本規程に定めるもののほか、必要に応じて実施要領を定めるものとする。

(事務担当)

第11条 本規程に関する事務は、国際交流センター事務局が担当する。

(改廃)

- 第8条 派遣先大学への学費の支払いについては、本学から派遣先大学に直接納付するものとする。
- 前項の派遣先大学への納付に関する事項の詳細については、当該派遣先大学との協議の上、決定するものとする。

(助成の取り消し)

第9条 当該派遣留学における派遣留学生の身分を失った場合は、第6条各号に規定する経費助成を打ち切る場合がある。

2 身分失効の理由が本人の責めに帰す場合は、第6条各号に規定する助成内容について、当該派遣留学生に対し、返還並びに納入及び再納入を命じる場合がある。

(実施要領)

第10条 本規程に定めるもののほか、必要に応じて実施要領を定めるものとする。

(事務担当)

第11条 本規程に関する事務は、国際交流センター事務局が担当する。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学審議会及び大学運営会議の議を経て、学長の承認を得たのち、常任理事会が行う。

附則

この規程は、2021年4月1日から施行し、2021年度の派遣留学生から適用する。

二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の単位認定及び履修上の特例について

(文学部取扱要領)

二松学舎大学交換留学に関する規程第9条により単位を認定すると共に規程第12条により履修上の特例を認める。

1. 派遣留学生派遣の条件について

派遣留学生の派遣については、「二松学舎大学交換留学に関する規程」第3条第1項に基づき、「学部」に1年以上在籍し、前年度までに30単位以上修得した者」が出願できるが、文学部においては、在籍年次毎に以下のような条件を満たした者を対象とする。ただし、原則として、中国語圏の協定校への派遣条件は、当面3年次ゼミナル登録後以上の者とする。

- 1年次申請の場合・総単位数30単位(教職科目を除く)以上を修得(見込みを含む)した者。ただし、30単位には基礎ゼミナル2単位を含む。
- 2年次申請の場合・総単位数60単位(教職科目を除く)以上を修得(見込みを含む)の者。(春学期、秋学期のどちらに留学が始まる場合にも適用)ただし、60単位には基礎ゼミナル2単位を含む。
- 3年次申請の場合・総単位数90単位以上を修得し(見込みを含む)、ゼミナル担当教員の指導を得た者。(4年次春学期に留学が始まる場合にのみ適用)ただし、90単位には基礎ゼミナル2単位を含む。

2. 単位の換算について

本学で認定する単位については、科目毎の授業時間数を本学の計算方法(学則第26条)により換算する。

3. 単位の認定について

留学先大学で取得した単位は、大学学則第48条及び大学院学則第11条により学部においては40単位、大学院研究科においては10単位を上限として認定する。ただし、留学先大学での単位修得状況により、以下のような制限を設ける。

- 留学先大学で正課科目(卒業又は修了必要単位への算入が認められている科目)を受講した場合は、認定する科目区分については、派遣留学生個人の状況を勘案し、各学科のクラス指定必修科目、卒業研究を除く全ての科目(ゼミナルについては下記参照)に相当する。
- 留学生向けのプログラム(語学コース等)を受講した場合は、授業内容、授業時間数を審査の上、総合教養科目の外国大学科目①～⑤または、総合教養科目の外国語科目および専門科目の外国語科目に、振り替える。この場合の、単位認定の上限は20単位とする。

(国際政治経済学部取扱要領)

「二松学舎大学交換留学に関する規程」第9条により、派遣留学生が協定校で学習した内容について、下記の要領で単位を認定するとともに、同規程第12条により履修上の特例を認める。

1. 単位の認定について

留学先大学で取得した単位は、大学学則第48条により40単位を上限として、下記の通り認定する。単位については、科目ごとの授業時間数を本学の計算方法(学則第26条)により換算する。認定された科目の成績評価は、すべて「Z」(他大学等による単位認定)とする。

- 留学先大学で正規科目(協定校において卒業必要単位への算入が認められている科目)の単位を取得した場合
授業内容、授業時間数等を審査のうえ、派遣留学生個人の単位取得状況を勘案し、専門科目を含むすべての科目区分(ゼミナルを含む)に充当することができるものとする。
- 留学生向けのプログラム(語学コース)等の科目の単位を取得した場合
授業内容、授業時間数等を審査のうえ、総合教養科目「外国大学科目①～⑤」、総合教養科目の「言語と文学」における科目群、二松学舎共通科目もしくは学部共通科目における語学教育科目、国際政治経済学科2年次必修の「イングリッシュセミナーA・B」、国際経営学科2年次必修の「プラクティカルイングリッシュA・B」の中から20単位を上限に振り替える。

2. 通年科目継続履修について(秋留学のみ該当)

留学先大学の学年層等の関係上、年度をまたがり留学する場合は、前年度に履修した科目の後半部分を帰国後履修することにより単位認定を行なう。ただし、前年度に履修した科目が隔年開講科目、または開講されていない場合は、教務委員会が審議し教授会で承認のうえ、設置目的や科目の内容が類似した科目を履修できるものとする。

継続履修の成績評価は、留学前の担当者は、点数で評価し、留学後の担当者は留学前の担当者の出した点数と自身の出した成績を合算して評価する。
※留学前の担当者が出した評価は、教務課で保管する。留学後の担当者は、年度末の評価の際に教務課から留学前の担当者の評価を受け取る。

3. 進級要件となる科目群について

- 2年次春から留学する場合は、帰国後留学先大学で修得した単位を、進級要件に必要な単位に振り替える。
- 2年次秋から留学する場合は、3年次へは仮進級とし、3年次末に進級要件となる単位を修得すればよいものとする。

4. 継続履修について

留学先大学の学年層等の関係上、年度をまたがり留学する場合は、前年度に履修した科目を、帰国後履修することにより、単位認定を行う。ただし、前年度に履修した科目が、開講されていないとき、また隔年開講科目については、設置目的や科目の内容が類似した科目を履修する。

5. 進級要件となる科目群について
2年次4月から留学する場合は、留学先大学で取得した単位を、進級要件に必要な単位に振り替える。

6. ゼミナルの履修について

ゼミナルの履修については、次のゼミナル履修の特例に基づき、ゼミナル担当教員と十分協議の上で、留学先大学での取得単位をゼミナルに読み替えることを認める。

ゼミナルⅠA・BおよびゼミナルⅡA・Bのいずれかを修得すれば良いものとし、留学先の単位を振り替える。

- 3年次(ゼミナル登録後)春学期より留学する場合
ゼミナルⅠA・Bの単位は、留学先の単位で読み替えを行い、帰国後ゼミナルⅡA・Bを履修する。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、ゼミナルⅠA・BとゼミナルⅡA・Bを並行履修する。なお、ゼミナルを合同で行う場合など並行履修が困難な場合は、専攻科目2の科目により読み替えることとする。

- 3年次(ゼミナルⅠAを履修後)に秋学期より留学する場合
ゼミナルⅠB、ゼミナルⅡAは、留学先の単位で読み替えを行い、帰国後秋学期よりゼミナルⅡBを履修する。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、秋学期よりゼミナルⅠBを履修し、翌年ゼミナルⅡA・Bを履修する。
※北京大学、中国文化大学等、留学が本学の秋学期より始まる大学への留学時期は当面②のケースを原則とする。

- 4年次(ゼミナルⅠA・Bを修得した後に)春学期に留学する場合
ゼミナルⅡA・Bの単位は、留学先の単位で読み替える。ただし、留学先で、語学プログラム並びにゼミナルに振り替えを認められない科目を履修した場合は、帰国後、翌年度にゼミナルⅡA・Bを履修する。

7. 卒業研究の取り扱いについて

4年次に留学する場合、卒業研究は各種通信手段等による指導を受け、提出する。卒業研究提出までの各種手続きについては、派遣留学生が国際交流センターと連絡を取り合い期日までに提出するものとする。面談試験についても同様とする。

4. ゼミナルの履修について

【国際政治経済学科のゼミナルについて】

- 2年次春から留学する場合は、3年次春にイングリッシュセミナーAとゼミナル①A、3年次秋にイングリッシュセミナーBとゼミナル①Bを並行履修するものとする。
- 2年次秋から留学する場合は、3年次秋にイングリッシュセミナーBとゼミナル①B、4年次春にゼミナル①Aとゼミナル②Aを並行履修するものとする。
- 3年次春から留学する場合は、4年次にゼミナル①A・Bとゼミナル②A・Bを並行履修するものとする。
- 3年次秋から留学する場合は、3年次春にゼミナル①A、4年次秋にゼミナル①Bを履修するものとする。ゼミナル②A・Bの単位については、「専門科目Ⅱ(発展)」「卒業論文」を含む)の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。
※「卒業論文」を作成する場合は、指導教員の指導を仰ぐ必要がある。
- 4年次春から留学する場合のゼミナル②A・Bの単位については、「専門科目Ⅱ(発展)」「卒業論文」を含む)の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。
※「卒業論文」を作成する場合は、留学先にて各種通信手段(電子メール等)を利用し、指導教員の指導を仰ぎながら作成するものとする。

【国際経営学科のゼミナルについて】

- 2年次春から留学する場合は、3年次春にキャリアゼミナルとゼミナル①A、3年次秋にプレゼミナルとゼミナル①Bを並行履修するものとする。
- 2年次秋から留学する場合は、3年次秋にプレゼミナルとゼミナル①B、4年次春にゼミナル①Aとゼミナル②Aを並行履修するものとする。
- 3年次春から留学する場合は、4年次にゼミナル①A・Bとゼミナル②A・Bを並行履修するものとする。
- 3年次秋から留学する場合は、3年次春にゼミナル①A、4年次秋にゼミナル①Bを履修するものとする。ゼミナル②A・Bの単位については、「専門科目Ⅱ(発展)」「卒業論文」を含む)の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。
※「卒業論文」を作成する場合は、指導教員の指導を仰ぐ必要がある。
- 4年次春から留学する場合のゼミナル②A・Bの単位については、「専門科目Ⅱ(発展)」「卒業論文」を含む)の履修にて取得した単位をもって振り替えを行うものとする。
※「卒業論文」を作成する場合は、留学先にて各種通信手段(電子メール等)を利用し、指導教員の指導を仰ぎながら作成するものとする。

※英語圏の協定大学への派遣制度の詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。

派遣留学に伴うゼミナル履修の特例について(イメージ図)

ゼミナルの履修については、ゼミナル担当教員と協議の上で留学先大学での修得単位をゼミナルに読み替えることとなります。特例の取扱いの変更が生じる場合があります。

【文学部の学生】

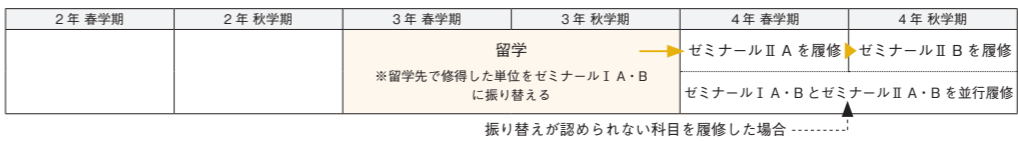
(※38ページ「二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の単位認定及び履修上の特例について」の文学部取扱要領「6.ゼミナルの履修について」に準ずる。)

(※2年次にプレゼミを履修しておくこと)

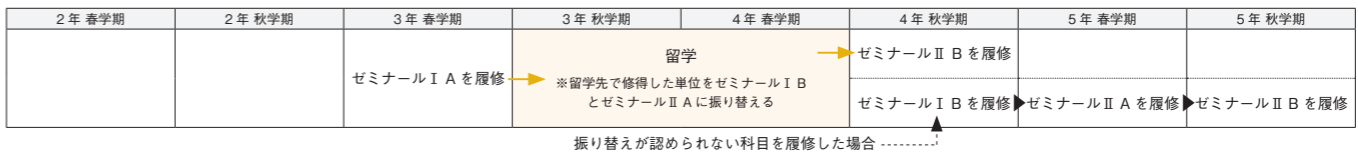
■2年次秋学期から1年間留学した場合



■3年次春学期から1年間留学した場合



■3年次秋学期から1年間留学した場合



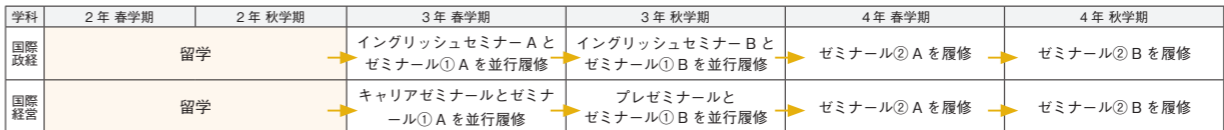
■4年次春学期から1年間留学した場合



【国際政治経済学部の学生】

(※38ページ「二松学舎大学交換留学制度による派遣留学生の単位認定及び履修上の特例について」の国際政治経済学部取扱要領「4.ゼミナルの履修について」に準ずる。)

■2年次春学期から1年間留学した場合



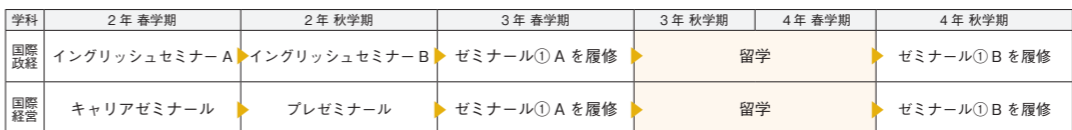
■2年次秋学期から1年間留学した場合



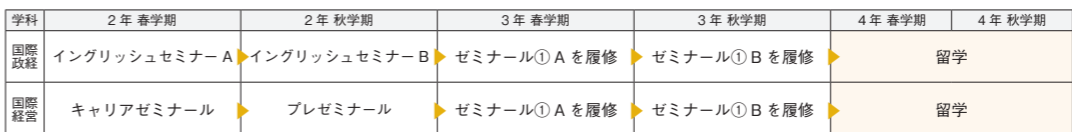
■3年次春学期から1年間留学した場合



■3年次秋学期から1年間留学した場合



■4年次春学期から1年間留学した場合



※ゼミナル②の単位については、「専門科目Ⅱ(発展)」「卒業論文」を含む)の履修にて取得した単位をもって振り替える。「卒業論文」を作成する際は、指導教員の指導を仰ぎながら作成する。



二松學舎大學

海外留学の手引き 2024

短期海外語学研修・交換留学制度

外国語に関する課外講座

二松学舎大学 国際交流センター 九段キャンパス 5号館 5階

〒102-8336 東京都千代田区三番町 6-16 TEL : 03-3261-5751

E-mail : icenter1@nishogakusha-u.ac.jp URL : www.nishogakusha-u.ac.jp

